京城日報

二十九日夕刊

露國の形勢

▲政體は憲法會議に決定

露都來電によれば露國の政體は憲法會議の決定に一任せりと(紐育電報)

▲新政府承認通告

帝國政府は露國新政府承認の通告を發せり(東京電報)

▲國務院の祝電否決

露國新政府に對し革命成功の祝電を發す可き動議北京國務院會議に提出せられしも這回右は否決されたり(北京電報)

▲滿洲露國主權者決定

滿洲に於る露國主權者は東淸鐵道長官ホルワット將軍に決定せり(哈爾賓電報)

▲哈市の新政記念日祝賀

二十八日哈爾賓在住露國人は新政府始政記念日が露暦八日に相當するなるが中央政府より日延の命令ありて愈々十五日を祝日として官民一般休業し電話電信迄も休務せり同日は午前十時より市役所前に集合して祝盃を擧げ式を了りて例に依り樂隊を先頭にして樞要街路を練り廻り小さき國旗に赤布を附け陸軍兵士又先頭に立ちウラーの歡聲天地を震撼するの盛觀なりき又東淸線にては各驛は汽車の發著毎に居住民總出にてウラーを唱へ露國民の歡喜の聲各地に滿てり(長春特電)

○獨紙と單獨講和提議

社會黨機關紙の報道

獨逸社會黨機關紙は獨逸政府が露國政府に對し單獨講和を提議したる旨を豫告的に報道したり(倫敦電報)

○米國募兵困難を極む

米國の募兵は目下困難を極めつゝあり(倫敦電報)

○米政治借欵不許容か

米國政府は依然として政治的借欵を許容せざるものゝ如し(紐育電報)

○陸氏辭意

滯京中の廣東督軍陸榮廷氏は黎總統と會見の際辭意を洩らし廣東歸任を望まず(北京電報)

○獨公使長崎著

歸國の途にある駐支獨公使ヒンツエ氏一行は二十九日長崎に著せり一行に對する面會は絶對に禁止さる(長崎特電)

○三日元老會議

松方侯は來る四月三日歸京す可く直ちに元老會議の召集を見る可し(東京電報)

○佛禁輸と生糸

佛國政府の禁輸により本邦生糸界の蒙る打撃甚大なるものあり帝國政府は目下佛國政府に對し解禁方交渉中にして多分生糸に對し除外例を設定せらるゝ事となるべし(東京電報)

○郵船重役增員

日本郵船會社にては取締役四名を增員せり(東京電報)

○佐藤軍醫監

駐劄軍軍醫部長陸軍軍醫監佐藤恒丸氏は廿九日朝新羅丸にて著釜十時半發列車にて龍山に向へり(釜山特電)

○尾崎會長表辭提出

尾崎東京市教育會長は辭表を提出せり(東京電報)

●木浦と總督

豫定の如く長谷川總督は二十七日午後三時特別列車にて松汀里驛發木浦へ向ひしが各驛共官民有志の送迎盛大を極め沿道各民家は國旗を掲げて歡迎の意を表し殊に羅州、榮山浦、鶴橋の三驛には地方製產品の重なる物を陳列し說明書及び寫眞等を添へ總督の一覽を乞ひ同五時五分木浦に到著せり此日天氣晴朗春景色となり總督一行尤も元氣にて光州より東道見送りの宮木長官第一二部長林技師ら野警務部長等及び木浦より出迎の松本府尹、林署長一行と下車林署長の先導にて三吉野旅館に入りしが停車場には木浦各官衙公署學校消防組各團體有志五千餘名參集熱心に歡迎し盛況を極む又二十八日午前九時より總督は府廳、郵便局、公立小學校、商業會議所、木浦棉業會社及び稅關支署を視察し規定の接見をなし旅館にて午餐を終り午後二時多數官民に送られ擧て差廻されたる光濟丸に搭乗三千浦に向け出發せり(木浦)

補咸興地方法院部長 四級俸下賜 (釜山地方法院晋州支廳判事) 竹村乃計
補釜山地方法院馬山支廳判事 (京城地方法院仁川支廳判事) 竹尾義磨
補京城地方法院仁川支廳判事 (大邱地方法院慶州支廳判事) 小野政太郎
補京城地方法院判事 (平壤地方法院鎭南浦支廳判事) 豫審掛を命ず 河村靜水
補平壤地方法院鎭南浦支廳判事 (咸興地方法院元山支廳檢事) 福岡德次郎
補咸興地方法院元山支廳檢事 五級俸下賜 (咸興地方法院檢事) 川澤淸太郎
補咸興地方法院檢事 六級俸下賜 (光州地方法院木浦支廳檢事) 石川信重
補光州地方法院木浦支廳檢事 (光州地方法院全州支廳檢事) 千賀顯市
補公州地方法院檢事 五級俸下賜 (公州地方法院淸州支廳檢事) 山田俊平
補公州地方法院淸州支廳檢事 清水源
補咸興地方法院淸津支廳判事 (光州地方法院井邑支廳判事) 土谷榮太郎
補光州地方法院井邑支廳判事 五級俸下賜 (咸興地方法院淸津支廳判事) 野尻隣太郎
補平壤覆審法院檢事 六級俸下賜 (公州地方法院檢事) 兩角斌

●地方廳豫算案

大正六年度地方費豫算案は概ね出揃ひとなり其の大半は既に內務部の手を離れて關係各部局に回付中なるが新年度も目睫の間に迫れることゝて各部局とも審議を急ぎ居れば總督の決裁を經確定豫算となるは遠からざる可く又た內務部に於て詮考中の分も一兩日中には回覽の運びを見る可く遲くとも四月上旬までには全地方廳豫算の確定を見る豫定なり

●司法官更迭

二十八日附を以て判檢事に左の如く更迭の辭令ありたり

補光州地方法院部長 四級俸下賜 (平壤地方法院新義州支廳判事) 菊池太物治
補平壤地方法院新義州支廳判事 四級俸下賜 (京城覆審法院判事) 和田四郎
補京城覆審法院判事 八級俸下賜 (京城地方法院判事) 畑義三
補京城地方法院判事 九級俸下賜 (咸興地方法院元山支廳判事) 三田村平太郎
補京城地方法院判事 (平壤地方法院判事) 中島懿之
補平壤地方法院判事 十級俸下賜 (平壤地方法院鎭南浦支廳判事) 淺原淸右衛門
補大邱地方法院慶州支廳判事 四級俸下賜 (咸興地方法院部長) 津末有降

●警察官更迭

二十八日附を以て左の如く辭令あり

補元山警察署長 (朝鮮總督府警視 鎭南浦) 橋本茂作
補城津警察署長 同(元山) 谷川彌彥
京畿道在勤を命す 神崎稼一

●辭令

二十八日附を以て左の通り辭令ありたり

任朝鮮總督府警視 叙高等官八等 (朝鮮總督府警部) 谷川彌彥
兼任京城醫學專門學校教授 叙高等官六等 (朝鮮總督府醫院醫官) 金杉榮藏
任朝鮮總督府臨時土地調査局事務官兼朝鮮總督府事務官 叙高等官四等 (朝鮮總督府判事) 見矢木欽爾
任朝鮮總督府臨時土地調査局事務官兼朝鮮總督府事務官 叙高等官五等 (朝鮮總督府判事) 福田源一
任朝鮮總督府臨時土地調査局事務官兼朝鮮總督府事務官 叙高等官六等 (各通)(朝鮮總督府判事 同 同) 平山正 大庭米三郎 石村義太郎

●李王太王訪問

李王並に同妃兩殿下は三十日午後一時三十分昌德宮御出門德壽宮に李太王殿下を訪はせられ午後三時三十分御還のことに治定ありたり

●李埈公繼嗣

李埈公殿下二十二日薨去に付來月五日御葬儀執行の事と確定し居れるが同公には嗣なく爲めに其の家系の事なるが洩れ聞く處によれば公家にては李堈公殿下第二子鍝氏(御歳六年)を御養子とし公家の世嗣たらしむるに內定せるものゝ如く最近雲峴宮の自動車は日々李堈公邸に往復して鍝氏を李埈公邸に迎へ鍝氏は既に喪章を附し居らるとの事なり尙ほ鍝氏は京城幼稚園に御通學中にて聰明剛毅天性御敏達の御方なりと

●關屋局長歸任

學務局長關屋貞三郎氏は二十八日夜歸任の筈なりしも都合に依り一日を延期し二十九日夜南大門驛著汽車にて歸任す

●森安博士出發

森安博士は廿九日午前八時三十分南大門驛發列車にて內地に向け出發せり

●憲兵隊主計正異動

憲兵隊司令部附三等主計正米本辰五郎氏は二等主計正に陞進し第十二師團經理部附を命ぜられ後任として第二師團經理部附三等主計正魚住鎭一氏命ぜられたり

●伊藤海事課長歸任

木浦釜山方面に約一箇月間出張中なりし伊藤海事課長は二十九日朝歸任せり

●京城の鮮銀新株

三月十二日より十七日迄公募せし朝鮮銀行新株三萬株に對する京城本店への申込中募入に決定せしは三十圓以上のプレミヤムを附したる分一千三百八十四株其のプレミヤム金額四萬四千七百圓にて別に二十九圓の申込は百八十五株あり此內何程の募入となるかは未だ明かならざるも多分有株位の活きとなるべし

●美濃部總裁歸期

東上中の朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は曾禰秘書役同伴四月五六日頃東京出發八日若くば九日頃歸京すべしと

●東拓重役會議

東洋拓殖會社にては二十九日午前十時より樓上監理官室に定例重役會議を開き石塚總裁川上商郷兩理事並に淸水秘書役參加重要社務を議せしが例により鈴木監理官も臨席したり

●東拓下關出張所

東洋拓殖會社の下の關出張所は四月一日より開所の事となり既に同所詰を命ぜられし社員は追々赴任しつゝあるが姑らく驛前の旅館を事務所とし徐ろに家屋の借入れを行なひ移轉する事となる可く尙ほ村上出張所長は目下病氣引籠り中に付全快次第赴任すべしと

●倭館と銀行支店

慶北倭館は近時の發展注目に足るものあるが株式會社大邱銀行にては同地に支店設置の計畫を立て總督府に認可申請中なりしが二十六日附支店設置の認可ありたり

●松平子養父葬儀

二十六日薨去せる東拓理事子爵松平直平氏の養父直已翁の葬儀は三十日東京牛込區市ヶ谷加賀町二丁目の自邸出棺途中葬列を廢し谷中祭場に於て佛式に執行せらるゝ由

●全羅丸の審判

判決の如何は大問題

朝鮮郵船會社汽船全羅丸(一千噸)が客月末江原道▲月位端沖にて坐礁をなし其後會社當局並に海上保險會社に於て引卸に諸種の手を盡せしも遂に及ばざりし事は既報の如きが何分一千噸級の朝鮮籍船にて朝鮮海事審判開始以來沿岸に坐礁沈沒の海難を出したるは今回を以て嚆矢とするに付海事審判上の大問題として戶川同船長に對する審判は一部に於て多大の注意を喚起し居れるが又該審判の結果如何乃ち不可抗力の海難か若くば船員の重大なる過失に出でし坐礁沈沒なるかの決審如何は朝鮮郵船にとりては輕々に附すべからざる事件なり若し▲該船の坐礁が不可抗力に原因せしならば問題なきも萬一船員の疎意に出でしものとすれば朝郵は契約の莫大なる保險金を東京海上保險會社より取得し得ざる事となる可く尙ほ同船沈沒に關する海事審判所の調査は著々進捗し多分來る四月下旬頃審判開始の運びに至るべしと

●入學兒童數決定

本年度公立小學校兒童數は當局に於て調査決定二十八日夫々通知を發したるが組合區域內よりの通學者千四百三十七名區域外より二十六名合計千四百六十三名なり之を學校別に示せば左の如し

日の出	二一七	南大門	二四八
櫻井	二〇二	鍾路	二五八
西大門	一三二	東大門	一三一
龍山	二三九	元町	一四五

尙進級せざりし生徒約百名其他を合すれば約千六百名に上るべく之を前年度生徒數に對比すれば全體に於て約六百名の增加を示せりと

●學校組合本會議

京城學校組合委員會は廿九日午後結了を見るに至るべく來る三十一日午後より本會議開催の豫定なりと

●平壤古墳調査

平安南道大同郡晩達面山腰湖洞郡晩達山南麓は小野田セメント會社工事に使用せらるゝ土地なるが同地方一帶は古の高句麗の古蹟にして三百餘の古墳あり今回セメント工事の進捗と共に取壞しの必要起りたるところ右古墳中歷史上其他の參考として保存を要するものなきにあらずやとの懸念より總督府より囑託谷井文學士を派遣し調査中の處古墳中大抵は發掘破壞せられあり上述目的の爲めに保存を要するものは僅に二個に過ぎずと而して此二個の古墳は相當保存方を講せらるゝ由(平壤)

●吉林露領事會見

吉林駐在露國領事スワドロフ氏は二十七日長春に來り時局柄身邊を慮る處ありしか哈爾賓總領事テラウショルド氏と會見協議せる後二十八日吉林へ歸れり(長春特電)

【地方】―仁川―

▲松元署長出張 松元仁川警察署長は二十八日海州沙里院京城方面へ出張四日間の豫定にて▲遺族へ吊慰金 芝罘沖に於て坐礁したる阪鶴丸にて遭難したる仁川花平里朴大喜、金田山の兩名の遺族に對し關東都督府民政長官より吊慰金の配與方委囑し來れるを以て仁川府より警察署に向け民籍其他の調査方を照介したり▲米檢第一期計畫 京畿道官營米穀檢査は大正六年度より實施せらるゝは既報の如くなるが更に聞く處に依れば第一期計畫として沿線中の要所たる烏山水原長湍等に開始し更らに第二期三期計畫として數ヶ所に設置さるゝに至る可く道當局にては既に官營に就いては總督府に認可申請中にて該認可の指令ある由而して準備員其他の詮衡等に關し豫定の進捗を見るに至らず多分四月下旬頃の開始となるならんが米檢に關する府令も多少の變更を見る可しと

―開城―

▲往復切符愈實行 從來開城驛と內地各主要驛間には割引往復切符の發賣なく旅客の不便少なからざるを以て當局者に於て該問題に就き調査研究中なる事は既報せし通りなるが右は愈來る四月一日より發賣の事に決定し其旨發表されたり▲氣候不順 過般一時春暖を催したるより農家にては開城白菜採種用根の植付を爲したる者少なからざるが其後更に寒氣逆襲したれば大に其成績を憂慮し居れり(平壤)

―平壤―

▲學校組合議員改選 平壤學校組合會議員改選期は來る五月二十五日なるが從來の議員中既に五名內地に引揚げ又は業務の都合上常に平壤に居住する事不能なる者もありて結局今期の改選に立候補せざるもの四五名を留すべく爲めに新顏を加へ十五六名の候補者現るべき由なるが其の顏振れは未だ逆睹し難きも多分新顏としては上谷亮造、中平岩造、平松亮造、竹中佐次郎、一柳村五郎、辰見彦三郎の諸氏及び從來議員たる村中正則、松尾六郎、松本哲、古莊仁太郎、遠藤忠助、脇坂喜之助、森本義高、山根正次の諸氏は何れも逐鹿場裡の人たらんとはさせらる▲府協議會員候補 平壤府協議會員中板倉太郎氏は今回任期滿了したるに就き本田府尹は既に其後任者を其筋に推薦したれば不日任命を見るべきが後任者の何人なるやは不明なるが世評に徵すれば多分林長太郎、竹中佐次郎、在間行太の三氏中なるべしと觀測せらる▲本田府尹の招宴 本田平壤府尹は二十九日午後七時より在壤の陸軍將校(憲兵隊をも含む)を大同館に招待し晩餐會を催したるが三十日は平壤府協議員學校組合議員新聞記者有志家等を招待し尙陪賓として各官廳の首腦者をも招待すべしと▲平壤府廳舍增築 平壤府廳舍は舊財務監督を使用し居れるが近時府及び學校組合の事務增加し現在の事務室にては狹隘を告ぐるより今回愈々增築するに決し目下財務本館と財務係の使用し居れる別室との間に敷地工事を行ひつゝあり

―提川―

▲證書授與式 提川公立尋常小學校第四回修業證書授與式は廿二日午前十時擧行模範とすべき優良生井上精一に褒賞を授與せり▲卒業證書授與 公立提川普通學校第六回卒業證書授與式は二十三日午前十時擧行因に卒業生は十七名なり▲消防組豫算 提川消防組及び衞生組合大正六年度豫算は消防組七十五圓を計上せり衞生組合は一戶負擔額金三圓にして▲居歇場改築 提川學校組合經營に係る居歇場は現在の建造物は老朽し且つ風致衞生上不適當と認め其筋よりの注意もあり本年度に於て改築の計畫なるが建築豫算七百餘圓にして四月中旬頃迄起工の筈▲俱樂部發會式 提川讀書俱樂部は提川官民有志の協和を目的とし山田龜太郎氏の斡旋により創立されたるが來る四月三日神武天皇祭を機とし發會式を擧ぐべし同俱樂部は提川唯一の娛樂機關にして會員は三十名以上なり

―晋州―

▲陸地棉種子配附濟 本年度晋州郡內にて栽培すべき陸地棉三千二百町歩に對し棉作組合は種子の配附を終了せし由本年幸に天候順良なれば優に三百萬斤の收穫を得べき見込の由▲昨年度棉花買收高 昨年度の棉花買收斤數は晋州郡のみにて五十四萬三千斤にして價格八萬六千圓に達せし由現今棉作組合員は一萬八千餘人にして益々陸地棉栽培するの傾向あり在來種を栽培する者殆んど皆無の狀態なりと

●安東縣雜信

▲商議總會 安東商業會議所にては二十七日午後四時より民團樓上に於て總會を開き大正六年度豫算案を附議する筈▲安銀支店 安東銀行奉天支店は來る四月中旬頃營業を開始する筈▲行政委員辭任 今期の選擧にて行政委員に當選せる議員中□□八郎、藤平泰一の兩氏は其團體なる銀行業務の都合上辭表を提出せり▲今川氏送別會 新任職技師今川唯市氏は今回轉任し近く歸國の途に就く筈に付中野、式村、山下、技末、尾崎の諸氏發起となり二十八日午後六時よりスミレに於て送別會を催す由▲馬鎭守使 東邊鎭守使馬中將は奉天政界の紛糾も平穩に歸したるに依り近日中に歸任す可き旨消息ありたり▲故露庵氏追悼 故南部露庵氏の一周忌追悼法會は二十五日正午より鴨江に於て執行されたるが多數の參列ありて盛儀を極めたりし

人事消息

▲井內勇氏(鮮銀調査局長) 東上中の處四月十五日家族引纏め歸任
▲柳生繁六氏(大連稅關長) 廿九日朝入京天眞樓へ
▲加茂鐵二氏(小野田セメント會社員) 同上
▲池田銘次郎氏 同上朝鮮ホテルへ

逐鹿夜話

▲競爭が激烈になると共に大分惡まれ口なども盛になつて來る政友會の機關紙が米澤市から立つて黑金當知事と鎬を削つて居る自黨の小林源藏君の形勢盛なる事を記して同地方の某有力者が小林君の勝算疑なきを說き二尺四寸の實刀を送つて敵を屠り將を斬り三度僞黨を屈る可しと奬勵したので勢力更らに一段を加へた云々と賞に今度の選擧美談であると賞揚すると一方憲政派の機關紙報知新聞は各候補者の運動員は哀れッぽい事を云つて有權者を動かす手段は種々あるが米澤の小林源藏の運動員は「小林も今度で三度當選すれば恩給に有つきますから何うか斯うか食へますが何分御同情を……」と云つて歩いて居ると笑つて居るかけも構はぬ人から見ると何れが何うだか判らねが小供の喧嘩見たいでおかしいぢやないか

▲藏內著炭君の運動員が一有權者を訪問して嘆願すると「俺も隨分骨を折つて新聞の議會記事を讀んで見るが却々分りにくい彼れが次郎作サンに如何して合點が行かうカヤ分らん人を出すのは無意味ですタイ」著炭君台なしになつた譯だがまさか

▲東京から名乘を上げて居る支那浪人の名物男萱野長知君が政見發表演說會を開いた所謂應援辯士として大町桂月君が開口一番「僕は萱野の親戚だから賞める譯には……」と云うて尙更ら貶す譯には……」でグッと詰まつて聽衆を睨めつて其儘口をモグ〳〵遣つてから頭を二ツ三ツ下げて引き退つたのは[illegible]野君運動隊の總指揮官は以前韓國商工部の書記官であつた之れも支那黨の旗頭鶴岡永太郎君であるが君が彼の鬚髯を逆にコキ上げ〳〵やつて居る事だらう

□征戰場より　頓堂
平戶島志々岐村にて
五戶の村有權者羽折る春の雨
山越わに政事を說くや梅の村

西比利亞の狼狩り

■寒月に吠ゆる大群‖橇に長刀備へて‖一日に五十七頭を射殺す■

〈莫斯科にて 小田榮〉

雪のモスクワより お便りします。小生等は二月十日クレムリン宮のある露國の舊都モスクワに著きました。見聞を申し上げたいことは澤山ありますが、先づ途中西比利亞の獵話を記しませう。なか／＼面白いお話です。

私の汽車が西部西比利亞のクラスノヤルスク驛を過ぎて、私は意外に驚る大白樺の森林地帶に

■驚異の眼 を瞠つて居た時のことであります。突然後ろの方から私の肩を敲いて『貴方は何處からおいでです？』と英語で訊いた紳士があります。紳士といふのは純スラーブ型の

■露西亞人で 稀らしく英語ではなしかけられたから常方も聊か面喰つて居りますと『イヤ私はイルクーツクの商人で今からペトログラードへ赴きつゝあるゴルブチコフといふ者です、これまで

■米國や濠洲 の商人と取引して居ますので英語も知つて居ります』とのはなしであります。紳士は頗る付きの好獵家らしく高く偉大なる赤鼻をうごめかしながら愉快と語りました『西比利亞の獵で最も

■痛快なのは 狼獵が一番です。狼は實に西比利亞の名物で就中後貝加爾が最も多い處です。其の地方では一群少くとも五十七多きは百五十頭の群を成して冬季滿地の

■雪に饑ゑて 來ますとソロ／＼人里近く押しよせて來ます。あの雄大な西比利亞の原野、寒月に吠ゆる狼の大群は實に物凄い

■一幅の畫題で はありますまいか。さて獵の準備には橇が要ります、橇の兩側には長さ一尺位の長刀を各六七本づゝも結びつけ其の上橇を曳く

■肥馬の兩側 及び胸部にも各二三本宛の長刀を備へます。而して獵夫は三人大の散彈を塡充た澤山のケース、護身用拳銃並びに萬一の時短刀を用意して更に防寒用毛皮外套に丸くなり同志三人五人と一團になり

■夜半の三時 頃から出かけるのです。斯うしてソロ／＼狼の出さうな場所へ來かゝると附近の血に饑ゑた狼群は右からも左からも飛びかゝり恐ろしい咆哮をつけながら咬みついて來ます。併し橇には鋭利な刀が備へてありますので飛びついた奴は

■傷いて斃れ 附近の奴は橇の上の射手から撃ち殺されて了ふ。斯うして黎明頃まで快走をつゞけ再びもと來し途を引返しますと路傍の雪に鮮血を染めて狼の群がコロリ／＼と現に自分は先日五十七頭を射止めたがなんと痛快な獵ではござらぬか……』とまた赤鼻をうごめかす。次にまた農夫等は木を組み合せた

■長さ六七尺 の丸形の罠を拵へこれに豚を餌として狼を釣る……これでも一夜に五六頭捕るとは珍らしくない(つゞく)

◆下關にて ━二十九日撮影にて━

●松村權大敎正舊職に復す

天理敎本部の首腦權大敎正松村吉太郎氏は晴天白日の身となり舊職に復活する事となれり(大阪特電)

●大阪に獨探嫌疑者

大阪府警察部高等課にては獨探嫌疑者として西野田に工場を有し莫大小貿易業を營む某の行動を偵察中なり(大阪特電)

●福岡地方裁判所に放火す 檢事室の床黑焦げとなる

二十七日夜何者か福岡地方裁判所書記課の窓を捻じ開け放火したるもの〻如く檢事室の床約一間四方黑焦げとなり居れるを發見取調中(福岡特電)

●芳川鎌子夫人姿を隱す

千葉病院入院中の鎌子夫人は廿九日午前二時退院して竊かに何れへか姿を隱したるが東京に立廻りたる形跡無きが如しと(東京特電)

殺はれて逃亡 呆れた遭難者

山口縣熊毛郡佐賀村漁夫松井梅太郎外四名の乘組める漁船が三月十五日午前十一時頃慶北迎日郡浦項沖三哩航行中一隻の難破船を發見せしが遭難者は慶南蔚山郡西城面鎭河里韓致玉外四名の者にして八十噸積みの帆船に鹽鯖外千五百圓の物貨を積み込みあり乘組員は顚覆船體に取縋り漂流中なりしを救助したるに上陸後何れも一言の挨拶もなく逃亡して姿を晦ましたりと因に積荷船體は何れも流失し其の損害合計二千二百圓なりと

●東京に降雪

東京は廿八日夜より氣温著しく降下せしに廿九日朝に至り少雪を見たり(東京電報)

●女房を撲殺す

咸南豊山郡安水面良坪里李昌賢(三〇)は妻龍明月(二三)が常に反抗して手に負へざるより三月一日遂に之を殺害せんと決心し家人の熟睡中勝手元より長さ三尺計りの割木を持ち來り明月を亂打中父母に發見されて果さず次いで三時間計り後又復妻を土間に引き出し滅多打に撲りて遂に殺害し屍體を引つ擔ぎて約十町計り離れたる積雪の山中に遺棄し歸途雪の足跡を消して犯跡を晦ましたるも此程所轄豊山憲兵分遣所黄水院派遣所の探知する所となりて檢擧され取調べの上檢事局へ送られたり

●火繩銃の強盜 潜伏中捕はる

銃を强奪し外數箇所にて强盜を働きて逃走の途中東村面栗逢里の富豪[illegible]日郷里に舞ひ戻りて潜伏中を釜山憲兵分隊の手に逮捕されたり

[illegible]五百七十八圓、外人二千百二圓の成績を示してゐる其の遊興客延人員は[illegible]にして內朝鮮人にして內地人婦人と結婚せるもの商業四名自由業二十名[illegible]

●峻烈なる檢事の論告 一萬圓强盜島內宗雄の公判

昨臘三十一日釜山棧橋にて朝鮮銀行員より强奪逃亡し過般京城に於て逮捕せられ釜山地方法院檢事局にて取調中なりし强盜竊盜傷人被告島內宗雄に係る公判二十九日午前裁判長松本判事窪田檢事の立會にて開廷され(辯護人無し)被告宗雄は裁判長の訊問に對し警察署及び檢事局に於て答へたる申立を是認したり續いて檢事は被告の經歷素行に對して峻烈なる論告を爲し本件は最も重き强盜罪なれば刑法第二百四十七條に依り十二年の懲役を求刑せり裁判長は三十一日判決の宣告を爲す旨を告げ同十一時四十分閉廷(釜山特電)

●太平町の出火 一時は大騷ぎ

二十九日午後零時半頃京城太平町二丁目十番地護謨細工商根本某方にて護謨の風船玉を製造せんと熱火にて溶解した護謨液を雇の鮮人が他の容器に移したる際傍にありたる揮發油に引火して發火し床上一面の火となりたる騷ぎに常備消防隊出動して即時消止めたるが同家の妻女は頭髮に火傷を負ひたり同家は大漢門前の場所柄にて白晝のこととて多數の彌次馬集り一時は頗る大騷ぎをなせり

●次官邸の地下室に就て

二十八日の夕刊『灯し頃』に明治町李王職次官邸の地下室を國分次官が發見せる旨記せるは全く誤聞にして實は前次官引揚後官舍關係者に由つて發見されて其當時より既に問題となり居りしものにて次官は未だ實見すらせず又官敎師の白銅貨僞造云々の事は的確なる事實に非ずして這は前韓國時代に於ける貨幣制度紊亂の極に達し官貨の亂鑄と共に奸惡者が警察制度の不完全なるに乘じて白銅貨の僞造が各所に於て行はれし際盛んに放たれたる流言蜚語中の一つに過ぎずして素より信ずるに足らずと語る者あり

灯ともし頃

▲京城府當局最近の調査に由れば京城に在住せる人口は內地人男女六萬七千三十八人鮮人十八萬三千八百六十六人其他各國人を合せて二十五萬三千六十八を算してゐる之を四年末に比すれば一萬一千九百八十三の增加を示してゐる▲鮮人の如きは年々京城より退去して地方に移住すると云ふ事もあるが決して然うではない勿論無職者は此の都會の繁劇なる生活狀態に耐わずして田舍へ退くが之に反して有職者殊に勞働者は年々其數を增加してゐる▲之が爲め結果に於て四年末に比すれば矢張り七千八百四十の大增加を示して居る之に比すれば內地人は僅かに四千百十六の增加あるのみである

◇記者、雲水僧に化けて 禪門の一家を欺き通すの記

◇━◇━◇
合ぞ驚かした異様の僧形△△あれは日本の坊主野郎だ△△貴下が妙心寺の坊樣で━△△胸の中には四十雖△へ食事時には一々合掌の和尚振で成功々々
◇━◇━◇

今日此頃は野も山も春の氣分が滿ち滿ちて、まだ肌寒いながらも郊外散歩の好季節と成つた。風穏りで知られた妙心寺の雲水織田義譲禪師と打連立つて此の前の日曜兼て約束の雲水旅行と洒落れる。第一の

▼目的 は漣川農園の主宗ゴマの木村さんを訪ねんとするのだ。義譲禪師は、能く木村サンを知つて居るが記者は一度も逢つたことのない人だ。雲水に化けて木村サンを何處まで欺くことが出來るかといふのが人は惡いが面白いところなのである記者も今日は雲水姿で往かうといふやうなわけで、義譲禪師から借りて貰つた中古の褐ちやけた長い木綿法衣を膝上げしてやつとの事に首尾能く成功したら御手拍子喝采と出來上つた俄法師、大騷ぎをしながらあたふたと往十里に驅け付ける、列車に飛び乘ると

▼異樣 な格好の雲水が二人乘り込んだので三等客が言合したやうに吾々に注目する記者の直ぐ前に一人の青年が色の黑い男と戰爭談やら成金談やらを頻りにやつて居る、吾々を坊主らしくない坊主とでも思つたものか記者の顏をジロ／＼と見る、鼻の下の八の字と法衣の著付とが氣に食はぬらしくも見れる、さて目的の木村氏は記者を何と見るであらう？。十一時頃に漣川に著くと、二人は先づ木村氏を訪ねやうと番のやうな

▼漣川 の町を通つて居ると異様な雲水姿が眼を惹いたものか『あれは何だらう』と一人が大きな聲で呼び立てると、右の家からも左の家からも、皺くちやの老媼も出る、赤褌の娘も出る大變な騷ぎだ、一人が『彼れは日本の坊主の野郎だ』と云へば『ウンそうか』てなわけ引込んでしまう木村氏はもと臨臨の鑛區に居つた六年以前、京元線のまだ開通せぬ時分から漣川に這入り込んで農園を經營したのだそうな、大きな果樹園を持て數萬株の

▼林檎 や梨がある、木村氏は漣川の草分だといふ久しく法の話に渇して居る木村氏は雲水が二人も乘り込んで大悅び法話さか師と云ふ話で茶も喫まぬ先から始まる『ソサン(織田義譲禪師の事)と云ふ從軍が經へては居るもの〻假作り抉禪坊主佛法の話で遊ばされては一大事と勝めて話を漣川の話に引くすので木村氏はそろ／＼記者の顏を見ながら『妙心寺では一度も御目に掛りませんでしたが』と問ふ[illegible]

▼降參 せぬが此處の妻君までがニャ／＼と見るので八風吹けども動ぜずる內心悔々する禪宗の坊樣は精進だと云ふので木村夫人丹精の野菜料理が出る禪宗では食堂と便所と風呂場は三默堂とか言つて中々八釜しいものになつて居ると[illegible]の義譲禪士の法意に禪宗のする事なら何んでも知り拔いて居る木村氏のことだ、此關門は

▼閻魔 の應處でいと箸を取にも飯の御替を頼むにもお茶を乞ふにも必ず一々合掌して和尚振りを作る時の可笑しさ流石の記者も聊か面倒臭くなる、それでも漸つとの事に食事は無事に終つたが脇の下には

▼坊主 は、トロロが一番に好物だそうで、擂り鉢に擂るばかりのトロロがちやんと座敷の中に待つて居る。まだ尻が落付けぬのに『主人と御三人だから擂り鉢一パイ位は大丈夫で御座いませう』後藤老師なざは、底を叩いて召上りましたよ』さいふ挨拶の坊主振りに擬い頗る驚いた眼を白黑させて居る處に、之も妙心寺の信者の荒川といふ人の奥さんが挨拶に來た、木村氏夫婦は氣付てかの氣付かいでか知らぬが、一言半句も知つたやうな御話はなく、今度御暇があつたら是非來て法話を願います

▼精神 講話一つ開く機關が無いので困る人が死んでも御經の一ツ讀んで貰へず、ビール瓶箱の中に屍骸を入れて河原で火葬をすると云ふ様な殺風景だと入る、處が荒川の奧さんと云ふのは、何の見處があつてか義禎禪師には、色々と挨拶したが、同法衣姿の記者に向つては『あなた様も妙心寺の和尚様でいらつしやいますか』と來たのには左様でござると答はしたもの〻此の時こそ腋の下には玉の汗が流れてゐた手拭を絞る程に冷汗が流れたそれから木村氏の案內で漣川の內を一巡りして歸つて見ると木村氏の宅では中々の禪宗通と見へて

■課題及募集規定

■募集規程 ▲用紙は[illegible]同形の洋紙一枚毎に紙上端に住所氏名明記の事[illegible]

商況

債券現物特電 (東京 二十九日出來値)

東拓社債	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
東洋拓殖	一〇〇、一〇
朝鮮銀行	一七、九〇
朝鮮瓦斯	一三、一〇
東洋鐵道	二一、八五

公債直取引 (東京 二十九日出來値)

五分利特別	九五、八〇
五分利四回	―
四分利	八二、三〇
四分利二回	八一、三〇
五分利	九五、七〇

深川在米特電 (二十九日現在高)

地廻米	一二三、五四二
朝鮮米	八三、五三二
肥後米	一七、二四三
內地米	二四、四三一

東京期米特電 (二十九日前場 五月限)

寄付	五五、六一
高値	五五、四六
安値	五五、六一
引け	五五、一六

大阪株式 (二十八日後場)

銘柄	拂込	相場
宇治川電	五〇、〇〇	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―
東洋紡績	五〇、〇〇	一七七、三〇
台灣製糖	三七、五〇	―
鐘淵紡績	三〇、〇〇	三八、六〇
同新株	五〇、〇〇	―
東洋汽船	三七、五〇	一八七、〇〇
大阪商船	三七、五〇	―
日本郵船	五〇、〇〇	三三〇、七〇
同新株	五〇、〇〇	三〇四、三〇
堂島米穀	五〇、〇〇	―
東京新株	三二、五〇	二三八、〇〇
大阪株式	五〇、〇〇	三三二、六〇

大阪三品特電 (二十八日後場)

限月		
三月限	八六、九〇	八五、五〇
四月限	八五、二〇	八五、五〇
五月限	八二、四〇	八二、〇〇
六月限	八一、二〇	八一、〇〇
七月限	八一、〇〇	八一、〇〇
八月限	八〇、九〇	八一、〇〇

大阪期米特電 (二十九日前場)

寄付	一五、三六
中限寄付	一五、七七
先限寄付	一六、二四

め止

下關期米特電 (二十九日前場)

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸布氣迷乎 布は輸出の不振と時局關係にて氣迷ひに陷り易く目下兩品共に思惑み步調となり本日は殊に綿安を移し筋の買防ぎあるも綿布は次第に引弛龍共に一九錢方の低落[illegible]

一錢五厘 九龍と同値を維持し一昨日比し約二十錢切上前に走りし當時に比し市況は確かに軟化せるものといふべし綿糸は日本綿花株式筋の買一方に割合底強く本日の現物六圓五十錢は十手小安き十六手持合ひを報じ居れり

●銀價亂調 二十八日大連銀塊先物相場は前日に比し百〇九錢七十錢を報じ前日に比し十七錢方の低落せり

●澱粉と波瀾 歐洲大戰勃發以後諸新倉の新しき開始せる斯界は只夫れ外電の報道に據りし事なかりしに其の後暴騰を重ね十圓を超ゆる好況に沸きしも最近の市況は[illegible]二百四十丁の大落[illegible]

●土鹽愈々衰之乎 朝鮮沿岸に於ける煎鹽製造は各地とも來月半ばより開始さる〻筈なるが[illegible]

比年衰亡乞 [illegible]

●天日製鹽 [illegible]

●煉乳の昨今 [illegible]

●若布依然拂底 [illegible]

仁川期米 二十九日前場

大阪前當(二十五圓三十六錢中七十七)

生魚市場 京城魚市場 (日の丸市場休業中)

京城魚市場は依然昨日に比し[illegible]

南大門の廻穀

水原玄米	一〇四叺
西井里玄	三八叺
水原籾	一〇〇叺
成歡玄米	一一〇叺
平澤小豆	三九叺
平澤玄米	五四叺
沃川玄米	三一〇四叺
論山玄米	二〇〇叺
金村籾	一〇〇叺
水原白米	五四叺
水原籾	三五叺
平澤白米	二二叺
鳥致院玄	三八叺
成歡白米	一二叺
英州白米	四五叺
沃川籾	二六〇叺
金谷籾	一七叺

三巳仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話 仁川二三一、二一 振替口座京城四〇二

◉仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話 二八三番

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電三〇九四九二

●時局の見解 目前相場は小波瀾を免れざらん

[illegible]

●鑛業發展と爆藥 鮮內鑛工業の發展に伴ひ其の需用增加 鑛業用品激增 道用二倍に平均一倍餘 鑛力板引戻し 値段も確定 引戻せり 約一二圓方

[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は弱保合 [illegible]

京城正米

△同一等白米	十五圓五十錢
△同(京用)	十五圓六十錢
△同二等白米	十五圓三十錢
△錦江大豆	十四圓九十錢
△慶山大豆	十一圓十錢
△同	十一圓七十錢
△鎭川薄青大豆	十一圓六十錢
△元山大豆頭上	十一圓五十錢
△同大玉	十一圓八十錢

京城雜穀

雜穀類は解氷に連れて入荷多かるべきを見越され各品共に一般安氣込にて此の皮算の折柄取引閑散を極め居れり殊に小豆は內地移出不引合にして他品に比し一段軟味を帶び大豆も目下の地場取引八圓二十錢內外なるが大手筋が內地移出の不引合を唱へ[illegible]

市場零聞

▲高値は附隨せず 正米堅の鐘に頭重く 物揚面は殆ど利喰の外買 正米に壓迫同命 陷り人氣

仁川米豆取引所 二十九日の五月限

寄付	十二圓九十一錢	
二節	十二圓九十二錢	
三節	十二圓八十二錢	
四節	十二圓八十二錢	
五節	十二圓八十三錢	
高値	十二圓九十二錢	
安値	十二圓八十二錢	
出來高	二萬三千三百石	

賣買取組高 三月限 一萬五千二百石 / 四月限 二萬九千八百石 / 五月限 一萬五千二百四十石

二十八日後場 [illegible]

紡績株

紡績會社の配當は時局の影響を受けて[illegible]

北濱だより

小賣白米

一等白米	十五錢
次	十四錢五厘

天氣

晴れ

(廿九日午後六時より三十日午後六時迄)

……と共に明治四十年五月中間島龍井村に於て……名の兵士に斬りつけて逃亡し爾來各所に侵入して火繩銃二挺を携帶して強窃盜を働きたる役頭……計四百六十餘名の移管は內地人三十……四萬二千百二十四圓、鮮人二萬八千……

◎平南內鮮人結婚數 平安南道に於ける內鮮人の結婚せる者合計二百名

府邸の奥様

▽野菜作りや花弄りが何よりの樂しみで御座います

木浦府尹夫人橋本とし子樣のお話

橋本木浦府尹夫人をお訪ねいたしますと府尹官舍の應接間に通し愛想よく迎へられ五ッ位の編なしいお孃樣をお膝の上に乘せながらいろ／＼お話をなさいました『私が當地に參りましたのは恰度四十三年の日韓併合の時で最早

◆足掛七年 になります。仁川から參りましたのでございますが其當時はなんだか淋しい樣にも感じましたがよく申します住めば都で慣れるに從ひ氣候はよくそれに學校は申す迄もなく水道電燈の設備まで整つて居りますので今日では何にも不自由を感ずるやうな事は御坐いませぬ家庭生活の上にも兒童の教育にも改良したい事が澤山御坐いますが私などは人樣の

◆御意見を 拜聽しまして實行する事が出來ない位だものですからこういふ問題ではお話いたす樣な資格は御坐いませぬ、とて謙遜して御話なく婦人會は當地には愛國婦人會があるのみでありますが此方にても時々お寄り合ひ願ひ名士の

◆講演でも 拜聽いたしたらと思ひ居りますもの、當地の會員の方は京城あたりと違ひまして皆さんはお忙がしい御商賣のお方が多う御座いますから遂ひのび／＼になつて居りますが其の内によき機會もあつたらと考へて居ります、私は御承知の通のもので

◆趣味娯樂 などはありませんが強て申上れば花や野菜を作つて樂しむ位が關の山であります子供は二人御座いますみな女で姉の方は昨年から學校に通ふて居ります』と流石前外交官の夫人丈に如才なき應對振りであつた

●救はるゝ無告の孤兒（一）

―仁川佛蘭西教會内孤兒院に收容された五十の女兒の悲劇の臟片―

―退院後は潔き信仰生活に入る―

歐洲戰爭勃發以來佛蘭西は國を擧つて人道の敵と鬪ひ生民は塗炭の苦しみを受けて居るが此れが爲めに本國の修道院其他の宗教團體は言ふ迄も無く世界各國に派遣された

傳道救濟事業も非常の打擊を蒙り甚しき

は本國からの補助は全く杜絶して修士修女の生活費すら得る事も出來ない樣な窮狀に陷つた者もある、朝鮮各地の佛蘭西教會は幸ひにして早くから基本財産を作つて其の所得も相當にある爲め打擊は前記の如く慘憺たる者ではないが、それでも處に依つては修道士などの給與金は滯り勝ち不足勝ちで、平和と人道の爲めに鬪ふ福音宣傳者も

戰爭の慘禍を蒙つた世界主義者の悲哀を

感ぜずには居られず、聖母マリアの崇高い像も憂愁の雲に蔽はれて、神の潔き御事業の爲めに人道の破壞者獨帝を呪咀せない者はない、仁川寺町の佛蘭西教會も同所の孤兒院も矢張此の影響を蒙つて居る事は既報の通りで其後同院に對する社會の同情は雨の如く注がれつゝあるが教會内などでは黑い修衣を纏ふた修士修女達は星降る

早天の祈禱には平和よ來れ神よ人道を愛

し給へ併して祖國を救ひ給へとて平和克復の一日も速からん事を望ふ事にのみ祈禱の總てを捧げて居る程であるから如何に戰爭の影響の甚しいかと窺はれやう麗らかな日の午後孤兒院の管理者ヘレン修女を訪問すると便なたる腹、緊張した赫い頰

居た記者が孤兒院の現狀はと訊ねると『孤兒院は戰爭前迄は本國の修道院から經費全部を送つて來ましたが戰爭以來定額の千圓も遲れ勝ちなので非常に困つて居ります、目下收容して居る孤兒は一歲以上十五歲迄の女兒が約五十人計りありますが皆壯健であります』と語つて居る臉へ鮮人修女が靜やかに入つて來て

悲慘な孤兒の來し方や、あわれ運命の魔

の手から救はれて神の榮光と惠みに依つて光明ある生涯に入り得た孤兒の經路に就いて悲んな物語をした

讀者文藝（一等には五十錢の消耗券を呈す）

△川柳『事』

▲事有にやせた我慢を太く張り 京城 朔庭花

▲又聞き事新しく吹立てる 京城 櫻坊

▲喜びの前の仕事は手に付かず 開城 山陰生

▲泣事を聞き／＼アイス藏を建て 京城 廣安つれ

▲心配な事は易者と相談し 京城 零風仙人

▲言ふ口はあれど云へない事ばかり 龍岩浦 大石劍牛

▲一等なし

道の爲めに世を捨てゝ潔い信仰生活に身

を捧げて居る、修女は五十何歲とは言へ未だ四十前後の若さを有つて居る、其の修女は怪しげな日本語で『戰爭で大層困ります……先日はどうも有難うお蔭樣で同情して下さる方が多うございます』と言つて記者に椅子を薦めた

●警官練習所の新しい方針

松井警視を訪ふ

從來健治の稱ある鍾路署に三箇年間署長として鮮人上下の人望を一身に集めたる松井警視が今回新設に係る警官練習所長に榮轉したるに付記者は鍾路署に松井警視を訪へば警視は名殘惜し氣に語りて曰く月日の經つのは早いもので

▼余が此署長を拜命して早や三年と成つた種々困難もあろけれども中途にして轉ずることに成つたのは遺憾である從來の警官練習所は警務課の附屬として僅かに巡査の養成を爲す所であつたが今度總監部の課制の變更と共に獨立の一機關として設けらるゝ事に成つたので警務總長の御方針は陸軍に於ける戶山學校の如く教育家を養成する師範學校の如く朝鮮に於ける警察官養成の一機關を作り此機關に依りて養成され鍛錬されたるものでなければ

▼警察官として資格を認めないことにし此機關に依りて養成されたる人材を選拔して更に警部より警視と漸次昇任せしめ以て統一し文官たる資格を得せしめ又他の官たる徹底したる警察の養成を爲し彼の臺灣の警官練習所の如くせんとするに在る樣である朝鮮現時の警察官は隨分大多數に上るのであるがまだ

▼統一せる機關に依りて養成されたものでなく必要に應じて採用したに過ぎないのであるから此等も練習所の設備の完成すると同時に夫々一度は此の機關に掛けて見ねばならぬことになるであらう。……

◆齒は斷して磨け

▽是れから齲齒の病む時節

三月から四月へかけては一年中で一番齲齒の痛む時節ですが、これは春になると身體の抵抗力が弱くなるので、

◆平常は 極く輕い齲齒も痛みを感じて來るのであります。齲齒の原因は食物中にある含水炭素が、黴菌と一所になつて乳酸が出來齒の石灰分を溶かすのから起るのですが、不常、齒の衛生を怠つて居るからにも因るのは勿論であります

◆齲齒は 何時の間に出來るかと云ふと夜寢て居る間に出來るのです晝は談話をしたり食物を攝つたり絶ず口中を動かして居ますから唾液の分泌が多く從つて齒も洗はれて居ますが、夜は唾液が出ない許りか

◆口中を 運動させませんので黴菌と合するのであります。ですから寢む前に能く齒を掃除すると云ふ事が最も必要であります、含嗽水としては三パーセントの

◆硼酸水 を微温湯にしたものやクラウ水齒磨などが有効です。含嗽する時に注意する事は、夏季を除くの他は必ず微温湯を用ゐて頂き度い、何故かと云ふに餘り冷たい水だと齒牙に異常の

◆冷感を 與へ、其結果鬱血とか充血とかの齒齦疾病を招くやうになるからです、齒の磨き方は、横に許りブラシを使用するのでなく、齒の方向に一致して動かすのが完全な方法です。齒磨の種類では砂のはいらない細かな

◆柔かな 粉が最も良く、ブラシは毛の硬いのを好む人がありますけれどあれは往々、齒質を擦じ擦耗症を起す虞がありますから、軟毛の方が適當であります。ブラシを使用したら、コップの中に廿五倍の石炭酸溶液或は五十倍の『フォルマリン』溶液を入れた中に浸して蓋をして置くのが

◆最も良 い方法です。それから六七歲迄のお子さん方には、お母アさんなり、誰人なりの食指に消毒ガーゼを捲き附け、これに硼酸水の『ニプロセント』溶液を浸して其小兒の口腔、粘膜舌、齒牙等をよく拭い取つてやるやうになさるとよろしう御座います（某齒科醫士談）

●初午祭の賑ひ

仁川妙覺寺最上稻荷初午祭は二十九日例年の通り執行されたるが妙覺寺にては有志より寄贈品を福引景品として午後二時より五時迄出したるより參拜者は賑ひを呈したり。

●船底に縋つて 漁夫四名の漂流

廣島縣沼隈郡横島村漁夫日神原龜吉外三名と乘組み漁業の歸途三月十日慶北迎日郡岸山面の沖合三哩の所にて強風に襲はれて船體顚覆し乘組員は船底に取縋りて漂流中之れを認めたる同業者兵庫縣江島の竹中鶴藏の漁船に救助され幸に人命には異狀なかりしも船體は流失するに至り損害六百圓の見込みなりと

◎二十數箇所を襲ふ 仁川花平里尹鐘旭（二二）は三月三日窃盜にて仁川警察署に於て答九十に處せられたるが引續き二十數箇所に於て小窃盜を働きたる事判明し廿七日仁川署の手に押られ二十八日懲役一年に處せらる

●孤兒院へパンを寄贈

仁川寺町佛蘭西教會内孤兒院は戰爭開始以來本國からの教會補助が途絶された爲めに管理者は……寄附もあり……後一時に仁川寺町木村菓子店より本紙上に於て孤兒院の窮狀を知り同院の爲めパン百數十個を寄贈し來り其他にも寄贈者があるので管理者ヘレン氏は大に感謝して本紙上を通じて同情者に對して感謝の意を表したき旨申來つた

◆春の履物◆

履物の流行と云つても男子向の物には更に何等の記すべき變りもない。先づ婦人の駒下駄……只それだけに多少履先が變つて往くのみのことである、足の先に突かけるト駄の何やらにも流石に春は淡々しい輕い氣持がして居る

◆其鼻緒に しても如何にも若芽のやうな色、野に咲く菫や櫻草に似た色々、地質はいつも同じ天鵞絨でも色彩や刺繡、友禪模様、絞りの應用等で、下駄屋の店は宛ながら美しい春の野邊のやう、お葬式とでも名づけたい華やかなものもある、太さは三四分で白軟革を裏に附けたものが評判が好い二石（二本物）は相變らず喜ばれて居る

◇臺の高さ は矢張り一寸二三分と云ふところ、型は小町型、操小町、雨ケ、末廣型など色々の名稱が附けられては居るが夫れは一個の存樣に過ぎぬもので僅かの部分に大差のある筈もなく流行になる程低いのか高いのか決まつて居ると見れば宜い昨今は又

◇黑塗の臺 も歡迎せられ、消具入の蒔繪など上品なのは此上なしであるが粗々白木の御駒下駄の上のものと云ふべく、花の下道を逍遙するには何うであらうか、併し上流社會の花見の御道具には是非一足は用意せらるべきか

◇次に草履 のフエルト張の底は最上物なれど價が高いので、昨今は、フエルトた周圍にだけ張つて底は護謨張りしたものが多く出る、キルクの物も相變らず出るが、キルクの繼ぎ目の剝れ易いのと、穿いて居て、ギユツ／＼と音の立つのが嫌とせられて居る、近來は又十五六年前に全盛を極めた

◇縮珍張の 共鼻緒が花嫁さんの穿き料として需用が多いとのこと、織物の金ゼカセカはお色變りの服裝にふさはしさう

◎精神講話會 二十九日午後一時より京城新町遊廓女紅場にて娼妓全部を集め松原舍藏の精神講話あるべしと

◎實業生命の謠曲會 京城實業生命會社に於ては四月一日午後一時より旭町有明樓に於て宗家觀世流の謠曲會を開催の由番組次の如し

▲加茂 上田氏遠藤氏原氏▲百萬 大島氏松井氏▲藤戶 島崎氏三浦氏▲高野物狂 橫山氏小林氏河野氏▲海人 中津氏小熊氏田淵氏番外▲藍網寺 古城副會長山崎幹事

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
三月三十日より特別大興行 ▲新派悲劇『義理の爲め』▲舊劇『佐々成政の最期』……▲『第五快ロロー』四十……

浪花館 明治町 電話二六〇
東京大阪落語若手揃大一座來る 今夜午後六時開演
演題△浦島（三勝）△羽織女郎買、△曲手踊（新朝）池田猪買（ひさご）△天女道樂三府浮世節（歌女）△危險術△落語手踊（歌輔）△音曲噺（右朝）△三十石夢の通路（里鶴）▲大切滑稽喜劇松竹梅

有樂館 京城本町一丁目 早川演藝部直營
開館第二次特別大興行 ……

壽座 京城壽町 電話五七八番
貧我廼家蝶島會一行
第一、露長と局長 第二、佐倉 第三、須磨の仇浪 第四、舊劇出世の鼻
入場料 ▲一等七十錢 ▲二等五十錢 ▲三等三十錢 小供廿錢

富の道しるべ

山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

●菊苗●

當り年の責任を以て……愛好家の高評……大阪市外天王寺驛南一丁目 猪子園藝場

本日午後粗相出火の際は早速御馳付多大の御盡力に預り以御蔭大事に至らず候段難有御奉謝候混雜中御尊名御伺洩も可有之乍略儀以紙上御厚禮申上候
京城太平町二丁目 太陽ゴム商會

商業登記公告

合名會社石崎商店社員石崎甚吉ノ名ヲ甚吾ト更正ス
右大正六年參月貳拾四日登記

商號新設
商號 耳鼻咽喉科、營業ノ種類 飲食店、營業所 京城府明治町貳丁目五拾五番地 商號使用者ノ氏名住所 同所 飲田熊次
商號 山科、營業ノ種類 飲食店、營業所 京城府太平通貳丁目四拾五番地 商號使用者ノ氏名住所 同所 飯田惣
東亞煙草株式會社監查役石部泰藏及山口吉八任期滿了ノ處大正六年參月拾八日重任シタリ
東洋生命保險株式會社監查役井上敏夫ハ大正六年參月貳拾日其ノ住所ヲ神奈川縣鎌倉郡鎌倉町大字大町九百六拾番地ニ移轉シタリ
右大正六年參月貳拾六日登記
京城地方法院

夏服地 拂下服類一切

並等上等 壹組 金……
中等 同 金……
下等 同 金……
其他色々有之候
セル地
平壤府廳拂下錢製型枠
大和町 山中商店

開業御披露

會席御料理 並に仕出し
京城南山町二丁目四十五番地（梅花上）
竹廼家 電話二六三番

右弊店儀從來旭町二丁目に於て御客樣方の御引立に依り飲食店營業罷在候處今般右飲食店を廢し前記の處に移轉し料理店開業仕候に付ては一層御客樣の御便利を計り精勵仕候間何卒不相變御引立の程偏に奉希上候 敬白

利殖的成金讀本

◎富豪たらんとせば讀め!!

▲金儲けの近路は確實なる定期取引
▲遠隔地の現物賣買は危險
▲現株賣買は取引所で
▲定期賣買は確實なる株式

▽成功者となる第一の近路は……
▽利殖の方法とは何ぞや
▽最善の利殖法は迂遠である
▽銀行預金は諸君に勸めない……
▽誰にも容易に小資本で出來る現株賣買法
▽先づこの成金讀本を讀め!!

◎躊躇は成功の敵也

内容 金は權力也然も目下の問題は利殖なしこの研究
……
東京日本橋區坂木町十八番地 公債株式現物問屋
桐生屋株式店
電話浪花 二二五…… 電信略號（キリフ）
桐生屋株式店内に東京株式賣買成功會を設置し顧客の便宜を計る

朝鮮諸官廳受驗叢書

京城專修學校教官 安達大壽計著
二月十五日發行
▲受驗必携 朝鮮六法要論 全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 朝鮮行政法規大意 正續全二册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成 全一册
▲高等普通學校教官 阪上網吉著 朝鮮諸官廳受驗者必讀 作文軌範 全一册
法律問答 全一册
以上一部定價金各四拾錢 送料各一册金四錢

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後出題せらるべき事項の總てを網羅し、而も各問題を極めて明確に說明し解答を與へ……
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

學校用品荷揃 京城本町 シンセキ文具店

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四番 入院隨意

夏物品揃

帽子各種 シヤツ各種
手袋靴下 猿股半月
和洋手拭 洋傘和傘
石鹼化粧品 曹達煙草
櫻ビール 三矢サイダー
其他內外 雜貨一式
京城本町一丁目
明治屋本店
振替京城一〇七番 電話三四八番

月刊商報御一報次第送呈

移轉御披露

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕一層確實に勉強可仕候間不相變御引立の程奉願上候
京城本町二丁目電話九一七番
衣服商 江頭運平商店

廣告

清酒本火賣出し 來る四月一日より

拜啓陽春之候各位益々御隆昌之段慶賀の至りに奉存候陳ば弊店例年の通り來る四月一日より清酒賣出致し御得意各位に對し一方ならざる御迷惑相掛申譯之無候處本年度釀造酒も最早本火として何色なきに至り候に就ては今後一層勉强御高需に應じ可申候間御引立の程相願度此段廣告仕候也
大正六年三月
清酒 振天。双喜正宗 平生。榮菊
醸造元 發賣元 吉金商店

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

朝鮮總督府令第二十三號質屋取締に關する制令施行規則第七號に依り左の時間外に質物出入を嚴禁す
午前八時より午後十時迄
定期休業 每月二十日
京城質屋組合

……何書何號と明記に限る ▲宛名は京城……

明君道中記

第百席 田邊南龍 口演

肥後守忠廣侯は片鎌の槍の先の折れたを見て莞爾笑ひそれへ投捨てました此の片鎌の槍が池上本門寺の寶物となつて今に殘つて居ります る、次に忠廣侯は大勢の役人に警護されて遂に出羽の庄内に配流となりました、其庄内に御預け中

人間萬事不定風。身何間是兩又東。三十一年如一夢。醒來庄内破簾中。

と感慨を洩されました、加藤肥後守が一代の骨折にて取立た熊本城も此の忠廣侯の代に潰れるといふのも是非ないことでございます、スルと其の年の七月筑前福岡の城主、黒田右衛門佐忠之より江戸表へ訴へ出たのが此度駿河大納言殿傅役神津河内守より謀叛の密書を遣はし、黒田家同意あるべくといふことを申し越しましたが、謀叛に與することは恐多く密書を添へて此段お訴へ申し上げまするを申し出ましたから、家光公も黒田の計ひを感じまして最早斯くなれば忠長の謀叛は現然たるもの此の上は一刻の猶豫も相成らんと其の年の十月上使として永井信濃守堀田加賀守の兩人を駿府へ遣はしました駿府城内にては忠長公初め傅役の者附添て出迎へ上使受けをいたすと、永井堀田の兩人が『上意の趣餘の儀にあらず、忠長には亂行増長いたし其の上加藤忠廣と謀り謀叛を企て公儀へ御敵對を爲さんとする條重々不届至極に付忠長には國郡改易の上甲州都留郡へ流罪申し付けるものなり、と申し渡したる時に忠長公は色青褪め無念の形相現はれたが斯くなつてはいたし方なく受けをすると間もなく青網のかゝつた輿物を担ぎ來り其處へ乗せまして大勢の役人が附添つて甲州へ送りになりました、子息七郎長頼は左して罪は無いが松平右衛門太夫へ御預けとなりました又御傅役の上州前橋十七萬石牛岩主計頭親吉、出羽山形二十四萬石鳥居左京亮忠正、駿州田中の城主神津河内守、遠州掛川の城主朝倉筑前守等は皆々蟄居仰付られました、如何なる理由か同じ傅役の野州宇都宮の城主本多上野介正純には別に御咎めもございません、然し上野介は此の事に就て甚く心を痛めて居ります、是にて駿河大納言殿のことは別にお話しなく是より本多上野介が謀叛を企て宇都宮城内へ釣天井を構へて恐れ多くも將軍家を失はふといたしましたが、是は忠長公の爲ばかりではございません、或人の讒言によつて上野介は將軍家より憎まれ家が危くなりましたから無據謀叛を企たのでございます、此の原因を申し上げますと本多上野介正純が野州宇都宮城にて十八萬石を領することゝなつて入城して見ると驚いたのは宛然石崖を崩し家は毀ち野原同様になつて居ります、是は如何なる譯だと云ふに、是まで當城主として居つたのは奥平大膳太夫忠昌でございました、忠昌の父美作守信昌に三州長篠の戰に功を現はし家康公より賞美され家康公の娘龜子姫といふのを信昌に下されました、此の信昌龜子姫との間に出來たのが忠昌、龜子は當時御隱居の身の上であるが女ながらも活潑なお方であります、然るに今般宇都宮より下總古河へ國替を仰付けられました故古河へ移ることになりました、スルと龜子が家臣に申し付けて石崖を取崩させ樹木は殘ず伐らせ家屋は殘ず取毀ちて其の木材を車に載せて古河へ送つてしまひました、其處へ上野介が來て是を見て大いに怒り、コハ怪しからん奥平家の振舞城内を取毀つといふは城渡しの法に背き居る、早速此段を懸合へくれんと使を以て古河の奥平家へ懸合ひました

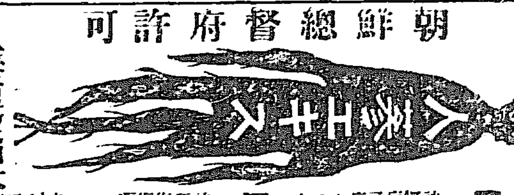
三月三十一日九星 舊曆二月九日壬申 本命三碧東歳祿試

▲三碧 約に悖る事有り油斷のならぬ日新事見合 坤の方は吉 ▲四緑 旅行よき日 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 一寸ひるむ事有る日 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible]

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通二丁目七番地（漢湖農工銀行前） 院主 佐々木杏造 電話一六五九番

FAMILY・HOTEL ファミリーホテル
市内四通八達の場所 土地高燥、眺望絶佳、庭園廣く閑靜の地 佛蘭西料理調進
客室 食堂 完備
食料は特に御便利に取計可申候 ミセス、ボーエル改稱ソンタグホテル 京城市大門通二 電話一二八番

毛皮なめし並仕立
獸皮剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ 萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話[illegible]

朝鮮總督府許可


内用精効能 神經衰弱、老衰、病後、胃腸病、子宮病、肺病、痔病、不眠、不消化、其他諸病より起る滋養強壯劑なり
外用精効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物、腫物、肩の凝り、筋の張り等によし
定價 [illegible]
人蔘直取引大販賣所
人蔘エキス 滋養藥 朝鮮名産 人蔘一切 製造本舖
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話三四八番 振替京城三五一〇番
京城本町一丁目 津村兄弟商會人蔘部 電話一八七〇番
支店 龍山 大邱 釜山 支店
其他全道の藥舖に販賣致居候 本店に御注文の節は[illegible]

寫眞
出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版 [illegible]
京城日報社 寫眞製版部

今東京大阪に飛ぶ如く賣れ 至る所で大好評
▲御客様▼ 御存じデスカ 御買ひ下さい
▼煙草屋さん▲ お賣り下さい
全國の煙草屋にあります

關西總代理店 [illegible]島 專賣所
東京本所區[illegible]

子爵 小笠原長生序文 學習院教授 服部他助新著
恩師乃木院長
四六版四百二十頁 乃木大將肖像(コロタイプ版) 著者撮影寫眞版數葉挿入
上製(總クロース定價金一圓八十錢 並製金八十五錢 郵税各八錢
青年子弟の德性涵養の良典範 學校職員育英薫陶の好指針
新刊發賣
古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、眞修篤行、萬人齊しく嘆仰景慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀也、著者は十有餘年學習院に教鞭を執る人、殊に乃木大將院長時代に、寄宿舍監督の重任を帶び、親しく大將に眤近して、其の偉大なる人格により寮生監督の職責を全うしたる人也。大將薨後追懷景慕する能はず、當時の觀察感想を記載したる日誌を基礎として、圓熟時代に於ける大將の眞面目が縱横自在に發揮せるもの即ち本書也。通篇十九章五十九節、其の華族子弟の寮舍生活を描寫し、乃木大將を中心とさせる感化訓育事業を詳述し、人道の儀表たる大將の人格を發露して些の遺憾なし。實に乃木大將傳中、別種出色に屬する大文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。
發行所 京城太平町 振替三〇〇 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社
京城日報社代理部

賣捌所 京城[illegible]（[illegible]） 堀佐營業所 電話六三九番

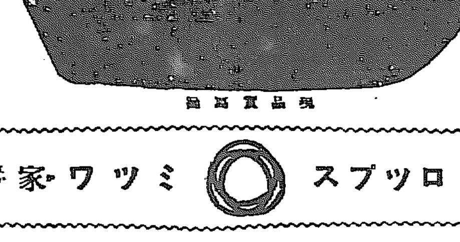
七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元樂液色黒き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す
小瓶二十錢 大四十錢 送料内地八錢 滿鮮卅錢 臺樺廿錢
東京神田和泉橋際 松本藥店

ミツワ石鹸
MITSUWA SOAP.
The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然皮脂の分秘量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

○ミツワ石鹸は

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし
即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。


現品實寫圖

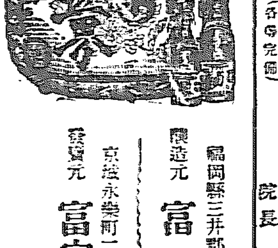
種	類	
大形	家庭用	定價金貳拾錢
中形	携帶用	定價金拾參錢
小形	旅行用	定價金拾錢
極小形	旅館用	定價金五錢

肝油ドロップス ○ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 振替東京七一〇番 丸見屋商店 電話特長浪花 四四四四番 四四九番 四〇五〇番 三〇番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話[illegible] 振替口座京城八一番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

產科專門 婦人科 京城明治町二丁目（元統監府下橋通川邊大正館前） （手術室病室各室完備） 中央婦人病院 院長 太笠 電話二三四〇番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 製造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話[illegible] 振替口座[illegible]

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前） シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

京城日報

第三版

三月三十日（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城大和町一丁目 合資會社 京城日報社　發行兼編輯人　印刷人　電話　振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報

朝鮮教育革正論（五）

儒教主義と朱子學派

我が帝國も亦儒教主義に由りて感化せられたる國民なりし也。然れども、我が國民は、支那國民の如く、朝鮮國民の如く、儒教の形式に拘泥せずして、比較的に之を善用し、之を利用し、之を以て教化を裨補し、之を以て國體を護持し、却て維新の鴻運を冥助したる效果ありし也。維新の際、新舊思想の過渡期に於て、一時思想中毒の弊に陷りたりと雖も、一旦其非を自覺するや、翻然として其本に反り、終に今日あるを致せり。是れ豈に朝鮮人の今日に於て深く戒めざる可からざる所にあらずや。

蓋し支那經典の我國に輸入したるは、我が仲哀天皇の八年、秦の功滿王の來朝を以て初と爲す。應神天皇の十五年、百濟の阿直岐を遣はし、良馬二匹を貢するや、阿直岐亦能く經典を讀むを以て太子菟道稚郎子之を師とせり。同十六年、王仁の來るや、菟道稚郎子之を師とし、諸典籍を之に習ふと云ふに據れば、儒教の傳來も亦久しと謂はざる可からず。同時に上古儒教主義の佛教と等しく、我が智識階級に於ける或る大部分の思想精神を支配したる事實も亦之を認識せざる可からず。然れども、我國に於て真に儒教の流行して、一般思想界の中心勢力と爲りしは、寧ろ德川氏の治世に在りし也。

德川氏が其の政策として儒學を獎勵し、殊に國相松平定信が朱學を以て官學と爲し、異學を禁せしより、朱儒の性理學は蔚然として興れり。然れども、朱學の外に折衷學あり、折衷學の外に陽明學あり、陽明學の外に復古學ありて、互に其の學說を研究し、思想の自由を束縛せられざりき。同じく朱學を奉ずるものに在りても、其の性理學に就て、其の是非得失如何を研究するもの少なしとせず。横井小楠が、

宋の大儒、天人一體の理を發明し、其說論を待たず。然れ共、專ら性命道理の上を說て、天人現在の形體上に就て思惟を缺くに似たり。其天と云ふも多く理を云ふ。天を敬すると云ふも此の心を持するを云ふ。格物は物に在るの理を知るを云ふて、總て理の上、心の上のみ專にして、堯舜三[illegible]大とは意味自然に別なるに[illegible]り。堯舜三代の心を用ふる[illegible]るに、其大を見ることこそ、現[illegible]の上に在せるが如く、目に視、耳に聞く、動搖周旋、總て天帝の命を受くるが如く、自然に敬畏也。別に敬と云つて此心を持するに非ず。故に其物に及ぶも現在天帝の命を受けて天功を廣むるの心得にて、山川、草木、鳥獸、貨物に至るまで、格物の用を盡して地を開き野を經し、厚生利用、至らざる事となし。火、水、木、金、土、穀各其功用を盡して天地の土滿るゝこそなし。是れ現在此天帝を敬し、現在此天功を亮くる、經綸の大なる如此。宋儒治道を論ずるに、三代の經綸の如きを聞かず。其說には近世西洋航海の道開け、四海百貨交通の日に至りて經綸の道之を宋儒の說に徵するに、符合する所あるべきに、一こして是れ無きは何故なる乎。然るに堯舜三代に徵するに、一に符合することを書に徵する所の如し。堯舜をして當世に生せしめば、西洋の砲、艦、器械、百工の精、技術の功、疾く其の功用を盡して當世を經綸し、天功を廣め給ふこと、西洋の及ぶべきにあらず。是れ堯舜三代の畏天經國、宋儒の性命道德とは意味自ら別なる所あるに似たり。

と云へるが如く、性理學の利弊を洞見する、燗眼炬の如きものあり。是れ其の我國が或る點に於て、性理學の弊に陷りたる時代なきに非ざるに拘らず、其實は寧ろ性理學の長處を採りて之を善用し、教化の具として帝國の文明を冥々裡に贊助し、終に其害を蒙むるに至らざりし所以也。維新創業に於ける勤王黨の志士が、大義名分を唱へ、皇室中心主義を鼓吹したるものは、蓋し朱學に負ふ所少なからざるが如き、正に其實例として看るを得べし。而して朝鮮人は之に反して性理學の奴隷と爲りし也。

企業熱の聲に對して

四　自作自給の說

白岳生

△企業熱の聲と相呼應して、此頃又自作自給の說を聞くに至つた。而かも往々にして甚しき誤謬に墮ける偏狹なる見解に依りて說明せられつゝあるのを發見する。之を簡單なる經濟常識より見ても、直に其謬說たるを知ることが出來る。必ずしも經濟學史上の實例を引き來りて誤りを正し、又は經濟政策、産業政策の見地より大々的に論難せねばならぬ程のものではない。然し誤りといふものは其初に當りては些少であつても未には恐るべき結果を齎らすことがある。此意味から誤見は早く破つて置きたいと思ふ。

△朝鮮に初めて『自作自給』の語を聞いたのは、數年前、寺內前總督の訓示中であつたと記憶する。そして其前後の說明も極めて簡單なるものであつたやうに覺えて居る。今日朝鮮の一部に傳へらるゝ誤れる自作自給の說も、源は前總督の訓示中に發し之に得手勝手なる附會を爲したものであると見るべき理由がある。何故なれば彼等は其唱ふる所を以て、朝鮮産業獎勵の大方針なりとさへ稱して居るに徵しても明白である。彼等は以爲らく、[illegible]諸材料の輸移入は朝鮮の富を半島以外に輸移出する所以である。[illegible]には、生活材料を[illegible]ことに努力[illegible]ならぬ、と。[illegible]而して一國の經濟政策、産業政策の如何なるものなるやに關して念を致す所なき、概ね此の如し。是れ實に半島內に經濟的孤立を敢てせんとするのである。誤見誤解と云はずして何とか云はん。

△前總督の自作自給の語に吾人の解する範圍に於て、全く然らず。一言にして盡せば、個人經濟に對する道德的見地より勤儉貯蓄の良風美俗を獎勵し涵養せんと欲したるに止る。國內の産は其郷土の産で間に合ひ來りたるに、之を捨てゝ不廉なる輸移入品を用ふるが如き贅澤を愼むべしといふの意である。輸移入品なれば甚だ廉價なるものあるにも拘らず之をも廢して自作自給せよといふのではない。要之國家的經濟政策産業政策の樹立に對して基準たらしめんとするが如き意味では無かりしやうに解釋して居る。況んや之を以て母國産業との間に、矛となし盾となして小競合を試んとするが如きに於てをやである。

△誤れる自作自給の說は朝鮮をして半島內に經濟的孤立を敢てせしめ、アダム、スミスが貿易平均主義と呼びたる十六世紀末葉の重商主義の短所に好んで學ばんとするものである。重商主義者は、一國の富は國內に流通する貨幣に比例するものなりと考へた。此見地より富國の策を講ずるには、[illegible]輸出を增加し、輸入を減少す[illegible]目的を達し得るものと信じた。乃ち此目的を達せんが爲めには[illegible]に輸入品には禁止を行ひ、然らざれば重稅を賦課して之を防止せんとし、又外國に[illegible]にして內國にも產し得るものに對しては其輸入を禁ずると同時に內國に於ては保護獎勵を加へ、輸出品に於ては其他有ゆる方法を以て保護獎勵の道を講ぜんとするのである。當時の富強國たりし西班牙、葡萄牙の二國の如きは盛んに重商主義を行つた。佛に於ては政治家コルベールが之を[illegible]出すに至り、英に在りてはクロンウエルが此主義の趣意に依りて航海律を制定したるが如き、夫々大功を奏した事もあつた。然し作ら此等は其時代に此主義が適應したるが爲めであつて、如何なる場合にも應用し得るとはいへぬ。加之其根本に於て此主義には外國の利は即ち我國の損なりと信ずる謬見を有して、貿易上に極端なる人爲的保護を加へる。其結果は、遂に輸出品に保護を與ふるは適々以て國內納稅者を害するに止り、輸入品に課稅するは單に內國の消費者に高價なる品物を購はしむるに過ぎざるが如き一大缺陷の伴ひ來るを知らなかつたのである。

△現代の學者間に有力なる學說は重商主義の如き極端なる保護政策を固執するを排するは勿論、又重商主義に對して佛のフランソワー、ケネー等の唱へたる重農學派の如く、經濟現象にも自然の理法の存在を認め、經濟上に自由放任の政策を取りて、人爲的制限を絕對的に否認せんとする說をも排し、又英國よりアダム、スミスの英國學派にも拘泥せず、即ち經濟政策とは時と所とに依て變通自在の妙用を發揮すべきものであつて、富國を通じ、百世を貫く一定不變の理法なるものは無い。保護と自由と臨機應變其宜きに就いて擇ぶべきであるといふに一致して居る。而して獨逸經濟學者の大部分が此主義を外に強く主張して居ることは戰時に於ける今日の獨逸に照し、大に味ふべきことであると思ふ。

△然れども吾人は誤れる自作自給の說の爲めに、正しき自作自給の說あることを沒却することは出來ない。吾人は今日誤れる自作自給の說を目して國家の産業政策、經濟政策遂行上に於ける一大障碍と爲し、之を打破し根絕して進んで而して正しき自作自給の說を擁護し之を實現せしめんと欲するものである。正しき自作自給の說とは何ぞや。他なし、全帝國的自作自給である。母國も朝鮮も臺灣も樺太も打して一丸と爲し、全帝國を擧げて一大經濟團を劃し、此大局に立ちて自作自給政策を實行することである。斯くて初めて天惠の利用、人事の配合其宜しきに合ひ國家的統制の下に組織的經濟活動を行ふことが出來るであらうと思ふ。特に軍國的見地よりして其急務なることを叱呼するものである。若し夫れ對外貿易の如きに至りては此大方針の下に自由主義たると、制限政策たると將た保護制度たると時勢に應じて取捨調節すべきのみ。

滿洲視察團の好擧

滿洲は我朝鮮民族の發源地

子爵 趙重應氏談

此度の貴社主催滿洲視察團の事に就ては實に感謝して居るのみならず私は此際卑見を開陳して鮮土の事情を明かにすると同時に些か希望したい事がある

△今より八十何年 前迄は現今の樣に整頓せられたる民籍名簿と云ふが如きものは勿論朝鮮に出來て居なかつたけれども舊韓國時代には隨分正確なものがあつた其頃の調査によれば朝鮮の人口は二千七八百萬人の間にあつた事は疑はれない事である其後今より約五十六年前哲宗皇帝末の調べに由ると二千三百萬の人口を有したに過ぎない此頃から政治紊亂したゝめに調査も洩れの事も大部あらうが僅か數十年間に斯くも大なる人口の減少を見るに至つた原因は秕政打續くと同時に暴動一揆起り貧困者增加し地方に於ても課役人あり惡疫流行し

△從つて凶作打續き 且つ開中央政權も度々移動し疑獄起り人民に不安の念を與ふる事が多かつた此間哲宗皇帝に繼子なく踐いで崩御、李太王の朝となるに及んでは黑船の襲來するあり官民の驚愕一方ならず其の爲め人民離散人口減少の結果を見るに至り中央官廳の變動と共に地方官廳の改革となり人民は其の歸著する所を知らざる有樣となつた世に云ふ內亂の騷擾とは此の事である其結果は農商工業の衰退となり人民の窮乏其の極に達した譯である此に於てか官民一同は改革の必要を覺り國力の挽回軍備擴張を唱道すると同時に土木事業をも起した

△此頃天主教傳來 し貨幣制度を改むる等節約に急激なる變化の結果は延いて重稅賦課となり茲に再び虐殺疑獄等の悲慘事が續出するに至つた其後外憂ある每に內訌起り政權移動し一日も安寧を求むる事は出來なかつたのである其後北淸、日淸、日露の戰役に由り鮮土は蹂躙せられ益々人民疲弊し現今の人口は僅々千五六百萬人の間に在る事と思ふ此れを觀るに約八十年間に約三分の一の人口を失ふた事になる私は今後四十年を費さずんば鮮人人口二千萬に達する事覺束無からうと信ずる斯の如く鮮土徒らに衰退に赴くは官民相互の誤解多く鎖國主義にして結果で決して人を怨む譯には行かぬ現今は千數百萬の鮮民帝國の仁政に浴し漸次其途に著くと共に帝國の威力に依り外憂更になく始めて安寧の日を樂しむ事が出來て居る之を想へば鮮人は先づ外を見なければならない外國視察を試みなければならない貴社が始めて內地觀光團を組織された結果は鮮人の自覺を促して與れた、若しも此れが歐羅巴の文明だとすれば朝は滿洲夕は京城と云ふ樣な事は殆んど日常の動作に過ぎなからう然るに鮮人は紳士と名望家、財產家と呼ばれる人も自家の座敷以外に

△一歩を踏み出す 人は少ないと云はなければならぬ、貴社今回の滿洲視察團の壯擧に出つて得る所は蓋し多大だらうと信ずる而かも日支、日露の關係は益々密接を加へ親善を增したる今日單に當局者の文學上に止まらず國民相互が往復し面接すると云ふ事は極めて必要な事と思ふ又間島等には支那人の爲めに虐待されつゝある鮮民もあり滿洲には廣漠なる原野交通不便等の爲めに殆んど自己の國籍をも辨へざる鮮民もあり殊に滿洲は吾が鮮民族の發源地でもあり此際滿洲視察は吾人の爲めには全くなつかしい企てと云はなければならない

△何時迄も桃源の 逸民を氣取らずに目を宇宙に開き人文を開發すると同時に其の遺利を獲得すべき時と思ふ私はかゝる見地より今回の視察團を祝福する次第である。

日米興業株式會社株式募集

募集要項

目的　一、紐育市內外に於て地所を購入し適當の時期に於て之を賣却すること　二、所有地所を貸付けて地料を收むること　三、所有地所を擔保として低利の外資を輸入し金融業を營むこと

資本金及株數　金五百萬圓（壹株金五拾圓株式總數拾萬株）

募集株數　參萬六千株（六萬四千株は發起人及賛成人にて引受）

申込證據金　壹株に付金五圓（但第一回拂込金拾貳圓五拾錢に充算）

申込期限　大正六年三月二十日より　四月五日迄

募入方法　申込證到着順により發起人に於て割當を定む

本社は其過去百年間に極端まで竪に發展し、今や急轉直下、積水の堤を決するが如く平面的に擴大しつゝある紐育市內外の地所を購入し、地價の騰貴を待ちつゝ、或は之を貸付けて地料を收め、或は之を擔保として低利の外資を輸入し、金融業をも營むを以て目的とす

米國富力の膨脹、紐育市の發展、共に其迅速なること世界に比なし今回の戰亂は其速度をして更に急激ならしめ、從來業に不足を告げたりし港灣、船渠、交通機關、其他公營私設にかゝるあらゆる設備、ては市區の改正、正に國を擧げての一大問題とはなりぬ、於是乎、當局は市の中央マンハッタン區に於ける工場無慮三萬の中、尠くとも其三分の一をハドソン河の對岸、ニユウジヤーシイ州の郊野（メドウランド）に移轉せしむべきことを提案せり、他なし一はハドソン河底の隧道續々增設せられ其交通急變したると、一は低地の故を以て永く閑却せられたるメドウランドが、排水の設備施され俄然大紐育唯一の工場地と化したるが故なり

本社が劈頭に所有せんとする地所は、上記メドウランドに位置し、宛かも東京市に於ける三菱ケ原の如く、經濟上の大紐育の中央に橫はり、水運の便をも兼ね有する世界の首都の三菱ケ原なり、本社は合衆國憲法及びニユウジヤーシイ州法の規定に據り、之が完全なる所有權を獲得し、時代の要求に應じ堅實に本社の抱負を達する端緒を開かんとす、同志諸賢希くは奮つて參加せられんことを

不肖紐育市內外の地所の將來に着目して五年、其間約五千二百名の同胞地主と、其出資によりて購めたる約七百万坪の地所とを紐育市內外に獲たり或は富豪に說き、或はシンヂケイトを組織して、叙上の微績を擧げたるが、今回更に商法の規定に基き成る株式會社を設立し、此事業の促進を計らんとす、項日之を知已朋友先輩に諮り、旣に九百有餘名の賛成者を得、資本金の約三分の二に當る引受株數を得たり、余若年にして不德、素より其器に非ざるを知るも、推さるゝまゝに斯業に對する一片の自信を以て、僭越ながら立ちて創立委員長となり、敢て天下の同志に訴へ、廣く江湖の賛同を仰がんとす、世の識者幸に之を諒とせられよ

日米興業株式會社 創立委員長 岡本米藏

發起人（次第不同）

野崎彦左衛門　松田三德　北村銕太郎　金光三代太郎　入江澄兒　山本千賀治　神坂康太郎　野上壽惠吉　富田種足　石原延吉　山上治郎　津崎尙武　南谷良策　井村誠一　小栗貞雄　宮嶋鏘三郎　橫尾壽太郎　大久保高明　兒島秀吉　西川篤三郎　窪田八十郎　ジョン、エフ、ループ　岡本米藏

贊成人（次第不同）

伯爵 土方久元　伯爵 田中光顯　菅原通敬　金原明善　安廣伴一郎　尾崎行雄　頭山滿　床次竹二郎　神田乃武　齋田功太郎　綱島佳吉　伊澤修二　日比重明　久保勇
子爵 秋元興朝　元田作之進　蜷川新　新渡戶稻造　杉原榮三郎　水野錬太郎　稻茂登三郎　望月圭介　今村明恒　相馬半治　高橋琢也　安樂兼道　高田早苗　天野爲之
門田正經　樺山資英　清浦奎吾　遠藤隆吉　寺尾亨　吳秀三　改野耕三　首藤諒　元田[illegible]　井上角五郎　井上[illegible]　上島長久　草生政恒　岡本武次
宮西寅之進　宮本勝　谷井千次郎　多木壽一　渡邊水哉　古市公威　鈴木文治　池田龍一　高山長幸　五島盛光　志田錦太郎
外九百廿八名

株式申込所

東京市京橋區南傳馬町三丁目　日米興業株式會社創立事務所　電話京橋二九九七番　振替口座東京三五一二〇番
大阪市東區高麗橋二丁目　日米興業株式會社創立事務所支部　電話本局二〇九九番
京都市上京區室町通下立賣上ル　紐育土地建物株式會社員京都出張所（電話上三六八七番）
岡山市東田町七番地　紐育土地建物株式會社員岡山出張所（電話一三七四番）
高松市天神前二百二十八番地　紐育土地建物株式會社員高松出張所（電話二一八番）
長野市縣町九十四番地　紐育土地建物株式會社員長野出張所（電話八〇五番）
松本市本町交文社內　紐育土地建物株式會社員臨時出張所（電話三五八番）
岡山縣笠岡町大字笠岡五〇八番地　紐育土地建物株式會社員臨時出張所（電話六五番）
靜岡市吳服町殿屋旅館內　紐育土地建物株式會社員臨時出張所（電話一一六番）
靜岡市橫口町榮屋旅館內　紐育土地建物株式會社員臨時出張所（電話二二一番）

（注意）株式申込御希望の御方は左記へ御申越次第必要書類を御送付可申上候

取扱所　京城黃金町二丁目　桂商會內　松森正重　電話一三三一
（株式御申込に關する書類は御報次第送呈可仕候）

大阪米　賣買取組高　後場寄付 十二圓八十九錢　場安値 十二圓九十一錢　出來高 八千七百石

露國の形勢

▲新陸相戰線を訪ふ
兵士等勝利の爲め死を誓ふ

新陸相グチコフ氏は戰線に赴き司令部のみならず第一塹壕線に迄進みて各聯隊を訪問し兵士等の伍列に入りて演說を試みたる處盛んに彼等の喝采を受けつゝあり兵士は等しく一致して皆勝利の爲めに一死を捧げん事を誓へり(露都電報)

▲我血の一滴となる迄
現役軍隊總代神に誓ふ

二十七日露都來電に依れば國民議會長ロジヤンコ氏は現役軍隊總代を引見したり總代は神に誓つて曰く軍隊は我血の一滴となる迄も國民議會を防衞せん各兵士は議會及政府に奉仕し皆斃れて一人となる迄翼贊し奉らんと(紐育電報)

▲將卒一致忠誠を誓ふ

戰線を巡回せし國民議會議員數名は皆好き印象を抱きて露都に歸り來れりて曰く軍隊の規律は間然する所無し將卒皆悉く一致して衷心露國に忠誠を表せん事を相誓へりと(露都電報)

◎佛軍の兩地點占領

佛軍は地勢上の困難と敵の猛烈なる抵抗ありしに拘らずトレムレブー及びラフエールを占領したり(巴里電報)

◎鄭家屯事件兵士處罰

鄭家屯事件に於ける二十八師の兵士四名を重禁錮に處したる旨二十九日張督軍より我領事館に報告あり從つて我鄭家屯駐兵は一週間以內に行はるべし(奉天特電)

◎六年度實行豫算要項
朝鮮支廠新設費削除―朝鮮事業公債 國庫債券借欵は追加豫算を以て實行

既報二十八日の臨時閣議にて決定發表されたる大正六年度實行豫算要項左の如し

▲歲入
▼經常部 五億三千九百二十四萬一千圓
▼臨時部 六千九百廿八萬八千圓

▲歲出
▼經常部 三億九千四百七十六萬七千圓
▼臨時部 一億五千六百三十三萬八千圓

計 歲入 六億八百五十二萬九千圓
歲出 五億五千百十萬五千圓

歲入超過五千七百四十二萬四千圓は臨時事件豫備費其他必要經費の追加豫算財源に充て臨時歲出の中朝鮮砲兵工廠新設費三百萬圓は全額削除せられ朝鮮事業公債百九十二萬圓朝鮮國庫債券借欵三千萬圓は追加豫算を以て實行す可きものとす(東京特電)

◎御下賜の眞榊
故李埈公邸へ

故李埈公邸へ御下賜の眞榊は根側一尺高さ一間の強包三十二個及び御幣生箱一個二十九日朝下關釜連絡船に積込まれたり(門司特電)

◎交通部員著連

第五回日支聯絡運輸會議參列の支那交通部王次長權參事等二十五名は金井鐵道院參事と同道村井中山兩顧問と共に二十九日午前八時大連著大和ホテルに投ず一行は同日各所を訪問視察し滿鐵主催の歡迎會に臨みたり三十日は旅順に赴き訪問視察を爲し夕刻歸連同夜大和ホテルに於て催さるゝ官民合同の大歡迎會に臨み三十一日出發す可し(大連特電)

◎朝鮮金融概況
一般金融緩漫なりしも其の前途は洋々たり

二月の貿易狀況は期節柄鮮米棉花及び綿絲布等の取引閑散なりし爲め輸移出額は四百九十六萬餘圓にして前月に比し百十五圓を減じ輸移入額は五百二十萬餘圓にして五十三萬圓を增加したるも昨冬來の寒氣は依然猛烈を極め未だ諸工事の著手を見るに至らず一般金融業者は投資材料に乏しく又た一方に於ては地稅納入等の爲め資金の移動を要したる等に依り同月末の民間貸出高は前月に比し十六萬圓同預金は四十八萬圓の共に減少を示せり而して朝鮮銀行券の發行高は滿洲特產物に對する貸出の減退並に國庫回金等の關係上月末發行高三千九百四十萬圓となり前月に比し百十萬圓の減少を見金融頗る緩慢の狀態に在り然れども其の潜勢力は實に侮る可からざるものありて朝鮮銀行は既に一般財界の趨勢に鑑み增資を斷行し各地方亦た企業の計畫相踵いで現はるゝに至る朝鮮財界の前途洋々たりといふ可し今同月中に於ける鮮內主要地の狀況を摘記すれば左の如し

先帝陛下の御懿德
未だ世間に隱れ居たる

[illegible]

憲法會議に充てられたる議場は午後に至るや西日射し込みて暑氣甚しかりしが別して先帝陛下の玉座は恐れ多くも熱射を玉體の御全身に受けさせられ給ふより或日の事議場に臨席したる故黑田淸隆伯が此の有樣を見るや餘り畏れ多しとて靜に立ちて窓の日除を下さんとせしに陛下には御手を擧げさせ給ひて黑田伯を制し『其には及ばぬ』との御諚ありたるより一同恐縮し奉りたる事もありしが或日の事議事中侍從が慌たゞしく議場に入り來り唯今皇子殿下薨御遊ばされし由を奏上するや其れを耳にしたる故伊藤公は大に驚き早速入御ある樣にと申上げしに陛下には誠に大切の會議なれば中途にて立去る譯には行かぬべし差しかゝりし此の一箇條丈濟ませおかせなどの御言葉なりしが他の顧問官達は斯る御大事のおはすとは露知らず意見を述べ他迄も落ち付きて議論を聞はすより伊藤公は恐懼に堪へず漸く其の一箇條を議了するを待つや早速當日の會議を閉ぢたる事ありしが防御後此事を聞きたる他の顧問官は恐懼措く處を知らず唯々恐縮し奉りたりと聞くだに畏れ多き極みにして御聖德御仁政の程こそ實に感泣に堪へざるなり(東京)

▲京城方面

[illegible]

▲平壤方面

[illegible]

▲釜山方面

[illegible]

▲群山方面

[illegible]

▲元山方面

[illegible]

◎英國と銅鐵板

英本國にては銅鐵板缺乏の爲め該品の輸出が國家的重要なることを承認し大臣に於て說明するにあらざれば同品を日本へ輸出する能はざることゝなりたる旨京城駐剳英國總領事より其筋に通知ありたり

◎昨年柞蠶收繭
製絲一千二百餘貫

▲飼育狀況 柞蠶繭絲は平安北道の特產にして大正五年に於ける同道の柞蠶飼育は前年來繭價の昂騰したる影響に依り春期の飼養戶數二百十五戶放養蛾數百九十七萬一千蛾を算し前年に比し戶數三十三戶蛾數十七萬五千蛾の增加を見たるも放養當時風害劇甚なりしと飼養地の不排たる義州郡の一部に蛆害多かりしとに依り豫定の良繭を收むるに至らず、從て秋期に於ては種繭の拂底を告げ放養蛾數は前年に比し五十四萬七千蛾の減少を來し加ふるに飼養中各郡を通じて蛆若くは蛙の害を被りたるもの多く中には悲害に依り收繭皆無の地方もあり爲めに同年の柞蠶繭は春秋を通じて三千百五十二萬顆即ち前年に比し六百九十三萬四千顆の減收を見るに至れり

▲製糸不振 又た柞蠶製絲は從來家內工業として多少生產せられしも大正五年に於ては原料繭の割高に依り之が生產に從事するもの無く獨り平北柞蠶株式會社に於て工場組織に依り前年に引き續き製絲したるも其の生產額は原料不足の爲め一千二百四十八貫に止まり前年に比し約一千貫の減少を來せり

◎斷交後の支那

江、福建、湖南、四川等を次要戒嚴區とし甘肅、陝西、新疆、雲南等の[illegible]可しと(北京)

く先づ上海に海軍總司令部を設立す事件に關する者は一切該局に之れを拘留せるが支那政府は[illegible]

□黃檗山より

五十年にたゞ一度和值ふ山城國宇治黃檗山宗祖眞空大師隱元禪師の大遠忌を迎へたる黃檗山にては二十五日は莊重なる大授戒會の第一日とて、降り頻る春雨の中をも物ともせで、登山者絡々として跡を斷たず、さしも廣き山內の諸堂、塔頭も全く人を以て埋まれり。先づ九州四國より京、關東、東北並に近畿地方よりの登山寺院僧侶は五百名の多きに達せり加ふるに下の關團體八十餘名、福縣柳川團體四十名、長崎團體等何れも宿院に投宿するや夜間には各布敎師出張して說敎法話せり殊に今回の授戒會は去る明治廿八年修行後二十三年振のことゝて稀觀豫想外の盛大を極め諸役寮とも繁忙を極めたり。山內大混雜の中にも諸般の法要は最も嚴肅に修行せられたり。午前三時、殷々たる巨鐘の響と共に山內に鳴り響くや、上山の大衆は何れも禪堂に入りて正身端坐、山田師家の提撕に依りて正念工夫せり。興聖寺で最も特色ある則朝式の莊嚴なる諷經、讀經も畢れば、高津得戒師、龍國管長其の他長老、侍者證、引請の諸師及び役位並に登山の戒子四百餘名齊しく、法堂戒壇に集り莊嚴なる入道式を了へ、午後引續いて得戒師高津前管長の說戒了つて龍國管長の御親敎あり、その齋定の如く法要を修行し何れも法益に潤ほへり四月一日迄に莊重なる法要を修行すといふ(在京都特派員)

◎鐵道貨車竣工

鐵道局にては春季に於ける貨物輻輳の際輸送に支障を生ぜざらしむる爲め過般來より龍山工場にて有蓋貨車製造中なりしが過日二十七輛竣成し今回更に二十二輛の製作を終りたりと

◎道の記念植樹

本年の京畿道記念植樹に就き當局の計畫を聞くに來る四月三日神武天皇祭當日を卜し仁川水道水源池西方高地なる魯梁津里津大山の道有林に實施の筈にて植栽樹種はクヌギ千五百本サクラ二百本カラマツ其他三百本合計二千本にして此面積一町歩に亘り植栽せらるべし因に櫻は牛耳洞の稚苗を年來栽培せるものにて當日は餘興其他水道觀覽等の便ありと

◎東拓記念植樹

東洋拓殖會社にては來る四月三日の神武天皇祭當日石塚總裁以下全社員及び同地方散在移民合同の上記念植樹を行ふ事となりしが場所は長湍郡津寬面堤防の中間にて蠶島面松亭里の丘陵とし松、栗、櫻其他合計一萬五千本の植栽をなすべしと

◎通學區域變更

今般東大門小學校の新設に伴ひ一部學區に變動を來せる事既報の通りなるが今其の內容を示せば即ち從來二十一學級若くは二十學級を收容しつゝありし日の出、櫻井二小學校は一校十八學級を以て最多限とする趣旨に基き新學年より十八學級制に縮少せらるべく又鍾路小學校は其の學區內に於ける兒童數增加し一學級の人員最多限を超過し收容上困難なるものあるを以て其々東大門小學校に編入せらるゝ事となり學校組合に於ては來る四月の新學年より左の通り三小學校の通學區域を決定發表せり

[illegible]

◎第二交通借款

批准と同時▲使用目的▲兌換準備金▲仕拂▲[illegible]銀行總裁は支那政府當局に對し支那政府の規定したる[illegible]

□春有龍山塵外天
白水孤峯將軍邸の雅會

二十八日の午後、龍山白水孤峯將軍邸で豆腐會と云ふ雅會が催された。參集の面々は立花蜻州、古海船跡、廣瀬秋山、草場金臺、佐藤芝峰、阿部無佛の諸氏。先づ長卓を圍んで探題と云ふ事となつた。彼れ是れと詮議の末鮮將軍が同日の朝作た詩に曉起春雪と云ふのがあると示したのが別項の一絕、然らば之れを取題和韻として滿堂異議なく可決、其より作句に移る。詩韻合映で硯府一瞬なるが何處からともなく出て來る。處か『退』と云ひ『硯』と云ひ處分の陰嚴だから各人頭を捻つて苦吟其しい、斯る時こそ元氣を付くる必要があると直に別室で豆腐會が開かれた迎杯漸く耳熱せんとし且つ飮み且つ作る、孤峰主人と廣瀬秋山子特に吐句口を突き孤峰主人前聯忽ち出れば秋山子後聯直に之に應ずると云ふ勞で滿座悉々清興に入つた兩君の聯吟中の一絕一律を茲に紹介すると

『不問杯中聖與賢。傾來大白大如船。風寒桃李吟難後。酒煖詩書興自圓。眉月嫌入淸若水。古梅橫斷談於煙。雅遊何必要歌舞。春花龍山塵外天。』

又た

『蒲生拜賢詩酒盟。一觴一詠暢幽情。春宵別鶴與無盡。不用管絃絲竹聲。』

其れから當日の作句は左の通りである

曉起春雪 立花蜻州
陽春白雪望漫々。早起快心不覺寒。忽見連山依舊碧。一峰高聳鹿斑殘。

和韻 古海船跡
江城春雪白漫々。曉起排窓偏怕寒。雅興未應驪背句。猶看北岳鹿斑殘。

和韻 白水孤峰
夜來不厭雪漫々。却愧貧厨酒味寒。多謝吟朋從遠到。氷心一片爲君殘。

和韻 廣瀬秋山
早起推窓一望漫。曉風吹雪覺春寒。庭陰老樹疎々白。疑是梅花數蕊殘。

和韻 草場金臺
雪亂毿毛曉渺漫。病餘吟骨不堪寒。春來第一會心事。枯木留花白欲殘。

和韻 佐藤芝峰
玉屑霏々望渺漫。徘徊賞笠鶴如寒。朝來自識梅兼柳。埋到春嘲一碧殘。

和韻 阿部無佛
北岳南山望渺漫。風吹春雪送餘寒。進南夫子能留客。不覺譜談夜闌殘。

◎商事會議列席議員

伊太利、露國、英國商事會議に列席すべき上院議員露國に入れると同時に革命亂勃發し旅行如何あらんかと懸念されしが一行無事露都著目下同地に滯在中也

◎東拓の支配人招待

東洋拓殖會社にては三十日午後七時より目下會議の爲め入京中の地方各農銀支配人及び遠山漢湖農銀支配人を花月に招待し晩餐會を催す由なるが會社よりは石塚總裁川上高瀨兩理事清水秘書役等出席すべしと

◎露貨換算率

朝鮮鐵道線發着滿蒙聯絡旅客運賃長春露貨間運賃の換算に付四月中日貨百圓に付露貨四十五圓八十六錢とす可しと

人事消息

▲上野和信氏(羅南步兵第七十三聯隊附中尉)二十九日夜入京[illegible]へ
▲藤田恒直氏[illegible]二十九日夜入京天眞樓へ

◎南言北語

華やかな革命の成功を唱ふ頸部の際には昨日迄の王者の榮華に引き換へて侘しい廢帝の后が夏宮裡に悲劇の主人公となつて居る▲近世政治史上に於ける革命の犧牲となつた廢帝を尋ねて見ると現存して居る廢帝では土耳古のアブドラ、ハミッド、葡萄牙の廢帝や支那の宣統帝などが其の主なる人々だらう▲近世では佛蘭西のナポレオン三世が廢帝として悲慘な晩年を送つた▲彼は獨逸軍の捕虜となつてカッセルに抑留後解放されると英國に移り倫敦近郊で死去した▲佛蘭西人は其の死を聞くと何れも冷笑して居た▲處が此のナポレオン三世が普佛戰爭で大敗戰をしたのも皇后のユージエフのお蔭である▲皇后が餘りに其の勢力を振つて皇帝を左右したのに原因して居る▲由來革命の際には必ず婦人が潜んで居るものであつて▲佛蘭西の大革命の當時にもルイ十六世の皇后マリア、アントアネットが餘り小細工を弄したゝで、却て夫婦諸共ギロチン臺上の露と消ゆるやうな悲慘事に遭つた觀がある▲今度の露國革命も皇后の細工が遂に今日の樣な悲劇を演出した原因となつて居る▲言い古しの事ながら犯罪の裏面には女あり革命の際には女あり嗚呼女は矢ッ張り危險物だ▲春三月皆んとして春霞何ほ寧實に鎖さる▲楊柳將に新芽萌にんとして更らに其の早かりしを喫つ▲桃に早く櫻に早く杏李にも無論早し▲迎春花獨り繭く黃唇を堅く結ぶと雖も赤殘寒に泣く▲意地惡き氣候は閏二月の罪か

外勤社員採用
身體强健、素養ある熱心なる活動家(俸給、手當、車代、旅費等付)希望の方は履歷書携帶午後一時より四時迄本人御來社相成度候(但し確實なる保證人二名を要す)
京城府黃金町一丁目(電話五百五十七番)
帝國生命保險株式會社京城支店

朝鮮諸官廳受驗講義錄
國語 會話 作文 漢文 歷史 地理 算術 法學 民法 憲法 行政 刑法 受驗案內
來る四月十五日より發行さるゝ總督府初め諸官廳の判任見習試驗に應ぜんとするものは本講義錄を讀めば登第の唯一指針となるべし
全部七冊 壹圓九拾錢●送料十二錢
京城旭町二丁目(朝鮮雜誌社內) 電話一二五〇●振替京城一一九二
朝鮮斯文學會

淑女画報
三代表的風俗 收めて此一卷に在り
三部
附錄小說 □中京の女…立石道三郎 □春光に浴びて…尾島菊子 □油やお染…田村俊子
東京本町 博文館
鮮麗な書報
三都風俗號
△花散る夕(大阪まちセットロ誌)…酒田蘭子 △東京結婚風俗(松本千、岡野氏令孃) △純京都式結婚支度(衣裳、調度、行列、花嫁姿) △大阪風の花嫁すがた、令孃すがた △三都純美(原色版、孔雀、日向、吉野三夫人)
三見物 (一)三幾の大阪名所めぐり (二)令孃の京見物 (三)東京郊外の史跡めぐり
△三都を代表する夫人と令孃の面影 △東京の女學生の一面 △京都藝壇の秀才(梅谷氏と森峰氏…松岡女史) △東京風、大阪風、京都風の髮の結ひぶり(名所同じ) △懸賞寫眞(受賞者百名)
趣味深き讀物の要目
□赫く日の宮(源氏物語現代語譯)…與謝野晶子
△京阪の婚成金ものがたり…巖谷小波 △角帽 △趣味から見た京都の婦人…茅野雅子
□母の實情(給入訓話)下田次郎 △女子の特色…谷本博士 △美人觀…大町桂月 △名婦品定め…さわらび △趣味の比較…丘文學士 △女學校評…T女記 △舞台上より…松井須磨子
三都研究
□愛の勝利(長篇小說)小栗風葉 △高島屋の內面描寫…(諷刺實話)…京わらべ △結婚式へ…奧野他見男 △大阪婦人界の花形…廣田白鷗
□加茂川千鳥(雜新秘話)(波瀾湧く)嶺王樹
花爛漫の春の伴侶 記事滿載
四月號 定價五十錢 郵稅三錢半

廣韓書林 京城鍾路
スエデンボルグ 思想普及 圖書大廉賣
天界地獄の遍歷者、神學界の革命兒、神祕界の大王、古今獨步の千里眼精力無比の偉人、明敏透徹の科學者、出俗脫塵の高士、之を一身に集め得たるものをスエデンボルグとなす今その宗敎と思想とを日本に普及せしめむがために左の數書を特賣す希望の諸君は必ず直接本社へ送金を乞ふ取次店にては割引せず
鈴木大拙先生新著 スエデンボルグ 定價五十八錢 郵稅八錢 特價送料共三十八錢
東京帝國大學學習院敎授講師 鈴木大拙先生和譯 スエデンボルグ原著
天界と地獄 定價一圓五十八錢 送料八錢 特價送料共一圓四錢
新エルサレムと其の敎說 定價六十八錢 送料八錢 特價送料共四十四錢
神智と神愛 定價一圓五十錢 送料十六錢 特價送料共一圓六錢
神慮論 定價二圓三十錢 送料四十錢 特價送料共一圓七十六錢
右發行所 東京小石川區原町六番地 振替口座東京一五六八六 丙午出版社

…たの通り決定し其々戒嚴を行ふ筈にて直隷、江蘇、山東、廣東、湖北等は之れを最要戒嚴區となし山西、浙第一戒嚴區、外江を第二戒嚴區、內海を第三戒嚴區、內江を第四戒嚴區となし軍艦を碇泊せしめて警戒す可…

支那獨逸斷交後上海電報局に於ける所發の電報非常に増加せるが此の際…業に關する者は之れを許すも其國際…發の電報を…せしめず…は直に之れを交通部に報告せしむる事とせり（北京）

…如し（北京）

▲款額　五百萬元▲期限　三年▲利息　七厘五▲擔保　支那政府國庫債券▲成立期　政府…

…を與へ…の如き…長江の…響を生じたる者の如くにて最近露西…ば支那政府の諸鐵道…工に便なら…しむる爲め先づ皆…わ子分の二を…を待たず直に之れに…の考案なるが如し（北京）

…せんとする…て此等補助貨に一元に…交換するを得猶舊式…の貨幣は市價に照らして新貨と併用するを得る事とせり（北京）

◇「春風遲日北歲の路……」ぢや
△圖們江の氷上を支那馬車が通る
△守備隊の兵士は皆健やかに

龍山軍司令部の參謀長齋藤…國境圖們江の月に嘯いて歸つた白水將軍に敬意を表する。將軍は今しフロックコートのお着で應接中であつたが、唯さへ黒い銅色の顏は國境の春光に一層焦げたやうに見うけた。

▽其處へ　た參謀の齋藤がキシキシドシと靴音を持つて來る。齋藤もなかなか元氣しい。なにを國の春色か、モウ大分なのいて來たなう。諸所附近なぞは楊柳の色が綠つて來て大下はいよいよ春や。…國「日北歲の路」ぢや……！──なに我眼の詩を讀むだのか。なかなか巧な…

つらつらワツハツハツ…ウム圖們江か、あすこはえらい千里白皚々ちつつたなう

▽江上は　堅氷に閉されて厚さ三四尺もあらうと思はれる。それで到る處支那馬車が荷物を積むで往來しちよるが就中圖們江の色內が最も盛んぢや彼處は、輝春市街から間島の局子街に往く馬車がみな通る。何故かといへば走る路を通れば大節と稱する峠があるからぢや。江畔のの守備隊が、りよくこれもみな

▽壯健で　働いちよるよ『水元帥』…遙かに聽く朝角の聲……』日露戰三個國の接觸…江畔の感慨はまた格別ぢや…[illegible]

▽柳陰馬　を驅けたところが、あれは西伯利亞のことぢや。各國國百八十里が行路に臨むするといふのか、なに間違ふもんか、…[illegible]…四百八十里で正確や、…『西伯利四百八十里』にしても面白いぢやあないか──一時半は相變らず眼鏡越しにニヤニヤとしながら當年に詔仰なツタ！

◉李王世子近く御卒業
士官學校に於ける規則正しき御生活
王世子附李王職贊侍　嚴柱日氏談

李王世子御使として過日入京したる王世子附李王職贊侍嚴柱日氏は王世子殿下の御近狀に就て語つて曰く

李王世子殿下は愈々來る五月を以て陸軍士官學校を御卒業遊ばされ見習士官として近衛聯隊附に成られる事になりました學校では殿下の御居間として

◉將校集會所の二階　を借り受けて本邸の方から金武官及び私外一人の者が交代宿直に參ります殿下は御居間が異つて居るばかり其他は一般の學生を些しも御變りなく御勉强遊ばされ又御食事も學生と同じものを召上つて居るし就寢起床の時間などまで規律正しく遊して居ります此の頃も習志野へ演習に行かれましたが其の折りなども重い銃を擔ひ

◉背囊を背負はれて　行かれました近來は暖かく成つたので御演習科から歸られる折りなど汗で襯衣がづつくり濡れて終ふ程です御運動は大變に御好きですが近來は擊劍、柔道、銃槍等の質科の御練習が烈しいので前には非常に御嗜であつた玉突などまで滅多に遊ばされぬやうになりました、しかし馬術は性來大層御好みになりますから

◉お暇さへあれば馬　に召されます近來は非常に御上達で時々市中を打たせ給ふたりまたは野外の御乘にも出掛けられます、隨つて御體格は從々充實せられ此の頃は身長五尺一寸餘御體量も十七貫以上にならせられました、殿下は御孝心極めて深く在せられ內地へ御在に成つてから此の方十一年間毎日父王殿下の御安否を伺ひ殿下御自身の

◉御動靜及御所感を　端書に認めて李太王殿下に寄せられ此の間未だ曾て一日として御怠り給ひし事なきは傳へ聞く者の何れも感服措く能はざる處であります

◉趙子爵令息　又殿下の御學友たる趙子爵の令息趙大鎬君は常に殿下と御學業を共にして居られましたが目出度く同時に卒業される事になりました、大鎬君も學問が善く出來て骨格も逞しいから將來立派な武官になられることと存じます

◉西本願寺管長代理決定
近松尊定師

西本願寺六雄管長代理の後任は二十九日の連枝會議にて大谷尊由師を一致推薦したるも師は固辭したる爲め近松尊定師を推薦せり師は目下病床に在るも病を押して承諾したるより直に主務省へ向け稟申せり（京都特電）

◉相場師　淡路丸沈沒電報を捏造す

過日門司を出港せし郵船淡路丸が玄界に於て沈沒せりとの報傳はりしも同船は二十八日午前七時無事天津に著せし旨入電ありたり右虛報は關門の相場師が捏造せし由にて門司警察署にては目下犯人搜索中なり（門司特電）

◉不正漁業者の大檢擧

本年一月頃より慶南統營近海乃至巨濟島沿海に於て狂に爆發物を使用し不正漁業を營み居れる漁業團ある旨統營署にて探知し同署所屬警備船第四鶴丸は同方面に出動し專ら檢擧に力めつゝありしも何分彼等不正漁業者は神出鬼沒にして容易に縛に就かず頗る當局者を手古摺せ居たりしが小梁川統營署長は數日前警備船第四鶴丸に署員憲兵等と倶に乘込み彼等が根據地と目せられつゝある巨濟島猪乙味沖合に出動し殆ど晝夜兼行前に大活動を開始したる結果終に不正漁業船五隻、此乘組漁夫十九名を檢擧し廿九日歸署し目下嚴重取調中なるが同署に於ては更に第二回の大檢擧を斷行し不正漁業者を根絶せしむる意氣込みなり而して目下同署に於て取調べを受け居れるものは釜…

◉籌子の方の思ひ出
本派本願寺の七回忌法要

本派本願寺にては三月二十七日より四月…日まで故籌子の方の七回忌法要を嚴修…[illegible]

◉南北滿洲視察團に對する日支官民諸賢の協贊（八）
先發準備委員　上田白川

長春視察

長春は一名寬城子と稱す嘉慶五年即ち西暦一八〇〇年長春廳に理事通判を置き名けて長春廳と云ひ同治四年城を現在の場所に築きて長春城と名けたが蓋し同地の發展は此時に始まり其後光緒十五年廳を府となし同三十四年には兵備道臺一名を此地に駐せしめ吉長道尹と改稱し近一帶十一縣を管掌し外交事務一切と內政とを監理せしめ北邊の最高官憲となつた。

長春府の位置

長春府城は吉林省垣の西八十里、營口より三百哩、大連より四百三十五哩（滿鐵線に依る）東清鐵道に依り哈爾賓より二百二十二露里（一露里は我九町四十五間）の地點、東經百二十五度二十九分、北緯四十三度四十八分に位し我北海道の旭川と略同緯度に位置して居る。城は四方九門を有し城門の周圍のみ煉瓦を用ひて墻を作り墻は高さ一丈五尺厚さ三尺底於て六尺上口約二尺ある。城の周圍は約二里半市街は不規則なる長方形で南門より北門迄約十八町東門より西門迄約三十町あり南北を通ずる大街一條及び該大街を中心とし之を東西に貫く四條の大街がある

長春の大發展

長春は北滿道路の總合せる樞軸であつて軍事上、政治上、商業上各方面に重要なる中心點である即ち東は吉林城に至り北は農安城を經て伯都訥大賚廳に通じ西は懷德を經て洮南府に達し南は東北蒙古を經て奉天に達して居る。而して我南滿洲鐵道の終端驛にして東清鐵道及び吉長鐵道に對する聯絡地點たり所謂三國折衝の地たると共に南北滿洲に於ける農產物の一大集散地となり吉林省及び其他に販出する大豆の馬車或は鐵道に由り初冬より晩春に亙りて陸續運搬せらるゝもの其額實に數萬萬石雜穀亦た五十萬石に達するの盛況を示す故に開市以來未だ短日月なるにも拘はらず急速なる大發展を爲し四十有餘年前迄は實に微々たる一寒村の長春も今や戶數一萬一千、人口六萬七千餘を算して居る

團體長春視察

四月二十五日午後九時二十五分長春著同地第一流の名古屋館に宿泊したる視察團一行は翌二十六日の午前八時迄に長春商品陳列所前に集合陳列所を參觀して後ち一同馬車にて大和ホテル、郵便局、警務署、小學校病院、領事館、道臺衙門等を車上より瞥見しつゝ本通りを經て正金銀行支店に到る同店階上の高塔より長春全市街の展望を爲し歸路は露國領事館、馬隊、支那電燈局前附屬地の五條街、堤防上より專用線及び驛構內一帶を展望して後ち再び馬車にて取引所に赴き信託重役の說明を聞き同十時三十分長春驛に歸著驛の舍屋內に於て小日山驛長の長春を中心としたる南北滿洲の經濟上に關する講話を聞き午前十一時二十分發列車にて奉天に向ふ事となる

◉馬賊邦人住宅を襲ふ

二十四日午後六時二十分頃南滿洲煙臺石炭坑事務所前なる邦人石炭商大松號赤興三松方へ七名の馬賊闖入金品千餘圓を强奪したる椿事あり折柄主人は妻女及び二人の子供を伴ひ共同風呂に赴き不在中二名は戶外に張番し五名は屋內に入り居合せたる支那人に向ひ確かに銀二千圓ある筈直ちに出金せよと凄い文句を並べて有金七百餘圓及び懷中時計一、金指輪四個、毛皮二枚外に衣類其他（價格三百圓）計一千餘圓を奪ひ逃走せり急報に接し派出巡査及び守備兵は協力搜査に努め又所轄署よりも數名の警官急行目下搜査中

◉今日から開場の動植物園
▽四月一日から休み無し

坊ちやんや孃ちやん方の一番樂しい遊び場所、昌德宮の動植物園並びに博物館は去る廿三日から閉鎖中のところ愈々今日の三十日から看覽を許すことゝなつた、此の一週間のお休みは李埈公殿下の薨去の爲めに御遠慮申し上げたので四月五日の御葬儀當日も休場する、併し四月の一日から十月の終りまでは月曜日の休みも無きにして一日も休みなしに觀覽を許す、その上これまでは午前九時から午後四時までの時間に限つて居たが一日からは午後五時まで一時間延びた。動物園の新しいところでは臺灣の四ツ眼鹿から、パリーの新夫婦、大山猫、丹頂の大鶴などいろいろ來ました。植物園には西洋蓮や水仙、芥子なども咲きこぼれて居ります、これからは眞當に樂しい遊び場所となります、早く御覽なさい

◉電車に投石

京城鍾路五丁目李載潤孫李惟補（一〇）は二十八日午後四時半頃附近の街路にて外數名と石投げをなして遊び居る中鍾路五丁目停留場より東大門に向け進行中なる七十三號電車の窓硝子に石が觸れて硝子一枚を破損したるも乘客には何等の異狀なかりしと

◉佛教慈濟會の發展

過日京城に於ける佛教各宗聯合の佛教慈濟會は府內及び其の附近の內鮮人行路病人救護の爲めに活動することとなりたるが七日役員選擧の結果西本願寺松原總長を專務理事に曹谿寺大隆和尚、東本願寺大谷監督を常務理事に當選したり猶ほ慈濟會の發展には一般信徒側の同情を喚起し西本願寺信徒伊藤宗一氏は故…の忌明返禮を省き金二十圓を同會へ寄贈することとなれり

△藝妓芝居

…に於いて藝者芝居を催すべく…稽古中なりしが…ひたるを以て來月一日より三日…るべしといふ

▣壽座　…[illegible]

▣浪花館　…[illegible]

▣有樂館　…[illegible]

▣大正館　…[illegible]

特別大寫眞來る!! 悲哀の極　新派　**衣が浦の仇浪**　…[illegible]

第五快漢ロロー　四十八卷の內八十九篇四卷上場…[illegible]

舊劇　**佐々成政の傳**　…[illegible]

特別大興行　**大正館**

京日案內（普通・番外）

▽寫眞技師入用　御希望の方は本人來談の事　黃金町三丁目　寫眞館　762

◉店員入用　十四歲より十八歲迄の者五名　但保證人を要す　京城吉野町　岩城商店　745

◉店員入用　但し本年小學校卒業したるもの數名　南大門通　德本京城支店　763

改名　京城旭町三丁目五番地　高山民吉　改名　高山鑛務所　主計　765

◉店員入用　廿二三歲位の實業に經驗有る者希望者は履歷書本人持參の事　市內保證人要　南大門　福田印刷所　764

店員二名入用　年齡十八歲以上二十五歲以下身元保證人を要す　龍山榮町中島雜貨店（電話七〇九番）　759

助手並見習看護婦至急入用希望者は履歷書携帶來談あれ　南大門內正面　救世醫院　757

融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御相談又は御來談　京城仁和町三の三二（稅務署前）起木屋　739

寫眞見習生及助手至急入用　但十五歲以上　龍山驛前　獨立軒　樋口寫眞館　752

番外　有給外務員採用　三十歲以上　午前來談　京城明治町一丁目四六　東京國債支部　769

店員入用　直轄出入商に希望ある十三歲以上十六歲迄本年小學校卒業の者五名入用　健康市內に保證人を要す本人履歷書持參來談あれ（姓名在社）　755

新古ミシン賣買　並に修繕　●針油部分品販賣　京城鍾路二丁目パコダ公園近　電話二三三八　**楠商店**　667

魔法瓶中瓶取替　破損魔法瓶　**專賣銅線織柳製鞄**　京城本町二丁目　高木旅行用具店

看護婦入用　志望者は直接來談の事　龍山元町一丁目　**イツキ病院**　740

朝鮮語科　新學期　三ヶ月修業　**英語科**　新學期　ABCより　南大門通（漢城銀行向ひ）京城青年會　749

ルエチン

ロックフェラー研究所病理部長　醫學博士　理學博士　野口英世氏發見

梅毒有無診斷藥

梅毒の疑を有し煩悶せらるゝ方は醫師に就てルエチンの注射を乞へ！　**有無直に判明せん**

ルエチンは弊社がロックフェラー研究所の特許を得て製造發賣せる最も理想的なる梅毒診斷藥にして僅少なる費用と簡易なる注射により潛伏、遺傳、第三期等の梅毒を確實に診斷して其有無を決定すされば梅毒感染等の疑ひを抱き憂慮せらるゝ方は直に醫師に就て本品の注射を乞ひ其有無を確め早期治療の方法を講ぜらるべし

定價			
一號	〇・二瓦（二人分）	一壜	壹圓廿錢
二號	〇・五瓦（五人分上）	一壜	參圓
三號	一・〇瓦（十人分上）	一壜	六圓

醫家及藥業家諸君に急告!!

弊社は今般細菌部を新設前記ルエチン及各種ワクシンを發賣せると共に傳染病研究所の血清類の特約販賣を開始せり

▣ルエチンは野口博士の下に研究せる赤津ドクトル製造を擔任す

▣ワクシンは英國ライト博士の下にて多年研究を積みたる阪上ドクトル擔任して

淋菌ワクシン　丹毒菌ワクシン　化膿球菌ワクシン　連鎖球菌ワクシン　腸窒扶斯　パラチフス診斷液　虎列剌豫防液　其他合計十余種を製出

最新鮮有効なるものを供給す

說明書あり申込次第送呈す

東京京橋區南傳馬町三　**星製藥**株式會社**細菌部**　電話京橋二〇五二・一七八五　振替東京

關西代理店　大阪東區道修町三丁目　小西喜兵衛　電話本局九五一　振替大阪三一〇

內科小兒科　**入院隨意**（普通病室並に隔離病室）　京城旭町一丁目　**小林醫院**　醫學士　小林千壽　電話六九二番

學生諸君へ　試驗褒美　**組合セ文房具ニ限ル**　京城本町　**シン華**

旅行用具一切

◆鞄製造（お好みにより如何様にも調製可仕候）

◆柳製　專賣品トランク

◆洋傘（本年流行新荷著）各種

●其他雨具ゴム引マント　魔法瓶及中瓶取替

京城本町一丁目　**高木旅行用具店**　電話一三四番

期米相場　**致富講義錄**

■致富の近道■金が欲しくば致富講義錄を讀め

■百戰百勝■素人は毎年資金八倍以上

■通人は毎年千百二丁內外

要二錢郵券　申込　東京市麻布區我善坊町五〇　富強會

今般京城長谷川町九十一番地より同長谷川町五十八番地へ移轉仕候間此段謹告仕候

帝國公債信託株式會社朝鮮支部　電話長二五三四番　振替京城二〇一七番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百二十一

奥の奥の手（廿三）の一

義理の弟の憲吉の奸智に、欺まさるゝとも知らず欺まされた絹代は勿論その黒幕に鬼の如き繼母と蛇の如き松崎の在る事を知らう筈がなかつた。只管に只幸三郎の尋ねて來るのを今か〳〵と待ちわぶるのみである。

庭竈以上に小穢くて、そして粗末極まつた襖張の天井には、蜘蛛の巣が破れた網のやうにぶら下つて、低い明り窓の桟には、埃が山のやうに積つて居た。黴臭い古疊の所々綻穴だらけになつた二階の六疊……宛然の物置部屋であつた。絹代は、其處へ追ひ上げられたなり、日暮れ過ぎまで熟と何事をも辛抱して待ちに待ちかまへた。

平生使はない場所であるから、電燈の設備がない。下流らしい頬の赤い女が、時代遲れの洋燈を點して持つて來て呉れた。御飯の時刻だからと言つて、安い天麩羅の丼を馳走して呉れたが、絹代は、そんな物に箸を付けるどころではなかつた。何となく何時ぞやの神田祭の留置所の事を懐ひ起して、暗い涙に咽んだのである。

『豊夫、憲ちやんまでが、妾を欺ますやうな事は有りは爲まいが、倉橋の阿兄さんがこんな場所の女髪結と懇意に爲て在ツしやると云ふのも、少し變なやうだが……』

七時を過ぎ、八時を過ぎ、九時を過ぎても、來べき筈の幸三郎から、何の便りもないので、流石善良なる絹代も、そろ〳〵疑心暗鬼を生じて來たのであつた。什うにかして、一度主人の女髪結と云ふのに逢つて、幸三郎との懇意な理由を聞いて見ようと思つたが、外廻りが忙しくて、家に靜座をしてる間がないからとばかりで、更に逢つて呉れる模様がなかつた。それを強て逢はうと云ふほどの蹟なしさは、引氣ない絹代には持合はさぬのである。十時頃から、烈しい風が吹き出して來た。絹代は、いやが上に心細さの増すばかりであつた。綿の缺げた瀬戸物の四火鉢を抱へて、一生懸命に來し方行末の事を考へて居ると、自然に只涙が後から後からと湧いて流れて、灰の中へ落ち込むのである。

『おやッ、入つしやいまし、お預りの姉さんは、慥かにお二階に……』と言ふ聲が階下から微かに聞えた。

『什うも飛んだお世話をかけました。ね。加之に斯う遲くなつて了つたので……』と、詫び入るやうな男の聲も聞えた。それが何うやら待ちかねた幸三郎の聲とは、違ふやうであるが、と、絹代は、漸くも感付いたのであつたが、事に依たらば、例のお友達の村山さんとやら云ふ人かも知れないと思つた。兎にも角にも、自分に取つては、懐しい有がたい救ひの神であると思ひ込んで居るので。

その人の昇つて來るのを息を凝らして待ちかまへた。みし〳〵と怪しげなる階子を踏み鳴らせながら、中折帽を眉深に、外套の襟を耳朶の邊まで眞直に立てゝヌッとばかり絹代の面前に現はれた男がある。洋燈の灯影は薄暗いに違ひないが、但し、その男が幸三郎でも村山でもない事丈は、一見して絹代にも分つた。

『もし、誰方さんで御座います』と、絹代は、只さへ怖氣に顫へた聲を、いや顫はせながら顏を眺めたけれども、心にない事は仕方のないもので、豊夫に……豊夫にそれが、松崎鍬吉であらうとは、思ひ及ばなかつたのである。

『へツへ、へ、絹代さん、能く其土の人ともならずに、無事で居て呉れましたね。』

言ひながら、松崎は、中折帽を擲い捨てるやうに投げ出して、外套の裾を背後へ飜ね返しながら悠々と坐つた。

『まツ、貴方は松崎さんぢやありませんか……』

絹代は、のけ反るやうに驚き呆れて、後の聲をば發し得なかつたのである。

『その通り、松崎ですよ。幸三郎さんの來るべき筈の所へ、僕と云ふ身代りが現はれたんですから、少しは驚いたのも無理はありませんが……なアに、貴女の阿母さんからちやんと正式の依頼を受けて、僕が迎ひに來て進げたんですから、是なら先達てのやうな異存も議論もれる譯はないでせう』

松崎は、藪から棒に斯う言ひ放つて、階子段の所から、階下の方を覗くやうに視ながら、

『こんな穢い陰氣な所で、定めし窮屈な思ひを爲たでせうが、僕も何時までもかやうな無理は言ひませんから心配せずと阿母さんの前まで行くと致しませう、ね絹代さん』

公州山城吟社句集（三月六日錦川居同人）

- 蒙立の雨後の牧場や水温む　友彌
- 春の宵臙脂臙しく灯りけり　同
- 庭前見て疲れ歸れり茶の宵　同
- 島に通ふ舟近よりぬ汐干狩　方外
- 春宵や頻りになをす髪の簪　同
- 土橋低ふ渡る茶祭や鮎若し　同
- 芹漬や茶淹稍染む薩摩燒　未刀
- 備けに地藏倒れし芹田哉　同
- 若鮎や平等院の芝の風　空堂
- 白朝車の泥洗ふ川や水温む　神岳
- 狂人の町騷がすや春の宵　同
- 身を横に小鮎淺瀬を上り急　孤秋
- 風溫き日を一門の潮干哉　豊山
- 行り行けば波近くなり潮干哉　菊堺
- ちらほらと嫁入通る春の宵　不醉
- 人妻を呼び使ひけり春の宵　桂川
- 自動車に姉待つ辻や春の宵　一佛
- 若鮎の瀬々ならき上る光り哉　孤秋
- 水底の塵動く日や水温む　可舟
- 木石の心の侶や根芹摘む　雲水
- 城趾を繞れる漕の芹長し　光音
- 芹摘んで卑しからざる女哉　同
- 蓮の種子蒔く畳や水温む　同

況

大阪三品特電　七月限 一六〇、四〇 一八〇、四〇　八月限 一六〇、四〇 一八〇、四〇

大阪株式特電　東京期米　大阪商船　日本郵船　[illegible]　三二〇、〇〇

下關期米特電　八十三錢△先限寄付十六圓十九錢　三月限　四月限　五月限　[illegible]

不朽の名著・國漢字典の權威

書引・音訓引・數字引

東京帝國大學教授 文學博士 上田萬年先生・學習院教授 飯島忠夫先生
學習院教授 岡田正之先生・學習院助教授 榮田猛猪先生
愛知縣第五中學校教諭 飯田傳一先生 共編

大字典

製本既成即時配本

本書は編者五先生が十有餘年に亘れる獻身的努力の結晶にして其收載の博大なる、其形式の斬新なる、其索引の完全なる、あらゆる在來の字書に卓絶し實に和漢字書界の一新紀元を劃せり。一度本書の內容を檢せば何人も本書が他の群小字書と到底比較を絶するを富嶽の群峰に聳ゆるが如き者あるを見ん。書肆多く自贊せず唯何人も本書の內容見本を一覽し以て此の空前の大字典の實質を知悉せられんことを切望す

□國語と漢字との關係を明にし漢字典と國字典を兼ね □索引は書引音訓引數字引の索引を附し檢字の便他に比なし □日常須知の漢字は勿論俗字略字和字の凡てを收拔す □字音を詳說し本邦のみに用ひらるゝ特殊音を詳記す □訓義の詳細類を絶す特に本邦の特訓を說くこと最も群也 □字源を詳說し字形の變化を示し石梁撰草字彙を附載す □同訓異義及辨似欄を設け字音と字義との關係を明にす □熟語十有五萬出典故事を明にし雜讀の固有名詞を收む

菊判クロース製背革製金文字金模樣入美本堅牢函入 紙數二千九百餘頁六號活字四段組印刷鮮明紙質精良草字彙付

定價 金七圓也　送料 內地金二十四錢 臺灣朝鮮金四十四錢

三萬部限特價 金五圓五拾錢

索引共 他詳細 說明付 內容見本 ―申込次第無代進呈―

好評如湧註文日々殺到す　特價部數の盡くるは眼前に在り好機を逸せず申込あれ

東京市日本橋區本銀町三丁目（今川橋際）株式會社 啓成社　電話本局二一〇〇番・振替東京一二〇五五番　賣捌 全國各地有名書店

創刊號 俳界

本誌は全國の俳誌の俳句評論を網羅し別に新舊各派の俳論を掲げ外月且面影公明狀俳事小說研究と趣味を兼たる現代無比の好俳誌なり
九大家選懸賞俳句
菊判百二十頁定價八錢 一號持價郵稅共十七錢
東京京橋築地二 振替東京一七一九〇 俳界社

平凡道德（第二十版發行）

遞信省電氣局長 東居喜九馬著
新能率增進法!! 商店員、職工等の事務の執り方を敎へたる新著也
發行所 丁未出版社　東京麹町二 振替東京一八四七一

桑蠶及桑樹 穗本

京城府黄金町 東京 大田錦 [illegible] 社
發賣所 幽靈社 關秘出業

THE "PINE" PEN

特製パイン萬年筆 堅牢無比

萬年ペンの善惡は決して其の名の新古を問はず各種萬年筆に付き經驗を有するものは何れも一得一失あるを知るべし弊社茲に鑑みる所あり特別の技能を有する槇松製作所をして數種の萬年筆に付きその特長を採り工作せしめ完全無欠なる左記萬年筆を發賣するに至れり論より證據是非一本を購ひ萬年筆界の霸王たるを知られよ

（銀行ビエ金キ製金正十四金、イリジユーム付）ペン付特製パイン萬年筆

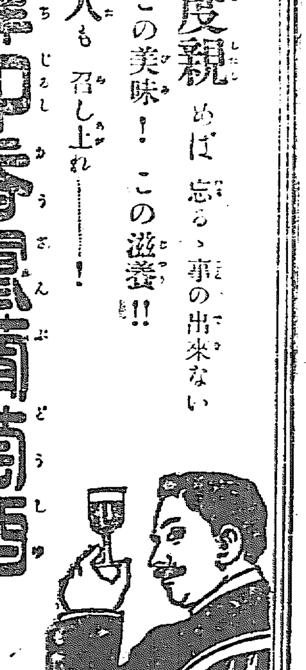
△各種萬年ペン精々廉價責任を以て修繕可仕候

定價　（インキ止式婦人用）全三圓八十錢（無飾）全五圓三十錢（無飾）押出式紳士向　（インキ止式短軸紳士向）全三圓八十錢（金飾）全四圓九十錢（無飾）

發賣元　京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次販賣所　京城本町三丁目　ウツボヤ書店

蜂印香竄葡萄酒

一度親めば忘るゝ事の出來ない　この美味！　この滋養!!
誰人も召し上れ……！
美味 滋養
朝夕飲用せば一生涯健全なり
東京日本橋　近藤利兵衛



蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を主とし滋養強壯料を主成分として調合せる優良品なり　毎朝夕一杯づゝで血を増し肉を肥す

購買入札

大豆八百十石外三點　右購買入札詳細ハ大正六年三月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正六年三月三十日　朝鮮總督府

最新刊

- 政變物語　前田蓮山　一、五〇
- 戰鬪的人生觀　金子木國　一、二〇
- 戰時の經濟產業　西田博太郎　一、二〇
- 算術教授の實際　後藤胤保　七五
- 趣味を中心とせる國語教授法講話　赤坂清七　一、三〇
- 恩師乃木院長　猪谷不美男 他助　八五
- 公式應用和文英譯新研究　山崎貞　七五
- 大正六年教育年鑑　帝國教育會　四八
- 貯金の出來る模範生活法　[illegible]　九五
- 女子文章拾貳ヶ月　内藤月枝　七〇
- 婦人文庫裁縫の巻　[illegible]　一、〇〇
- 美味しく手輕に出來るお餅の作り方　小泉宇外　五〇
- 英文通譯法　佐川春水　七五
- トルストイ傳　相馬御風　七〇
- すぐ覺えられる正式珠算の彈き方　吉岡藤　五〇
- 日用文寶　智三輪素　五〇
- 新少年文集　吉岡直方　二五
- 藝苑浮世風呂　小川菁秀　四〇
- 岩見重太郎　武田玉秀　三〇
- 基本練習用 諸誌かな帖　鳥井不言　四〇

大阪屋號書店

わきが

ファーザーを御用ひあれ　此の藥を用ひ効なき方は藥價六十錢にて今迄夜是……
京城黄金町三丁目　電話二九四九　山田文殊堂藥房

金泉鐵原間自動車時間

上り　下り　[illegible]
金泉鐵居自動車支部　小荷物運搬取扱付設　電話八番

大邱浦項間自動車時間

上り　下り　[illegible]
大邱浦項間自動車所　大塚農場自動車所　大邱出張部

日本郵船出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　四月廿一日正午出帆
三河丸　四月十一日正午出帆
瑞穂丸　三月卅一日正午出帆
仁川海岸通 郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大有丸　四月二日午後四時出帆
秀吉丸　四月六日午後四時出帆
君か代丸　四月四日午後四時出帆
神代丸　三月三十日午後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番　商杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
和歌浦丸　三月[illegible]日午後五時出帆
立神丸　四月[illegible]日午後五時出帆
山、濟津、浦鹽行
元山丸　四月[illegible]日午後十時出帆
和歌浦丸　三月[illegible]日午後四時出帆
立神丸　[illegible]
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三泰平丸　三月[illegible]日午後六時出帆
司、宇品、神戶、大阪行
第三泰平丸　三月[illegible]日午後六時出帆
須奈、巖原、壹岐、博多行
天頁丸　每月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
大池回漕部

仁川出帆 共同汽船

芝罘、大連行　伏見丸　三月卅一日正午出帆
仁川代理店 本町四丁目 野口商會
阿波共同汽船株式會社
元山代理店 田口回漕店
京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆

外航は常所定の港は除く
群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　天智丸　四月[illegible]日
汕頭丸　四月七日
須磨丸　四月二日後五時出帆
木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　信濃川　三月卅一日後二時出帆
群山、木浦、神戶、大阪行　天智丸　三月[illegible]日後五時出帆
遼州丸　三月[illegible]日
木浦、釜山、巖原、博多、長崎行　安東丸　四月十四日
安東丸　五月二日後二時出帆
群山、釜山、大連行　福州丸　四月十五日
潮州丸　五月[illegible]日後二時出帆
鎮南浦、大連行　安東丸　四月九日
安東丸　四月廿七日後二時出帆
大連直航　福州丸　四月九日
潮州丸　三月三十日正午出帆
清津、城津西湖津、元山出帆　印ハ不寄港
安平丸　四月四日
宮島丸　四月十一日後十二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
香港丸　四月十五日前六時出帆
基隆丸　三月三十日後四時出帆
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二三番、二二〇番

朝鮮郵船出帆

鐵道會社及社外組と連帶運送の貨物は本社、支店、出張所、代理店に於て取扱ふ　京城南大門通 松原運送店（電話一七〇）

江原丸　四月二日
京畿丸　四月十五日
黃海丸　三月三十日
成鏡丸　四月十日
門司より釜山各港寄港浦鹽間航路　釜山發
鏡城丸　四月一日
昌平丸　三月[illegible]日
鏡城丸　四月四日
元山より各港經由雄基行　元山發
昌平丸　三月[illegible]日　釜山各港寄港浦鹽行　元山發
德德丸　四月四日　甘浦、九龍里、浦項各港寄港慶尚道回行　釜山發
江陵丸　毎日　長生浦方魚津寄港　釜山發
裏陽丸　毎日　浦項發
三浦丸　三月卅一日　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港　釜山發
海州丸 統營丸　毎日　各港經由麗水行　釜山發
巨濟丸 慶寶丸　三日目一回木浦行　釜山發
平壤丸 忠清丸　四月六日・十二日　城津濟浦灣行　元山發
順天丸　三日目毎二回　各港經由麗水より釜山行　木浦發
慶興丸　三月[illegible]日　各港經由濟州島行西廻　木浦發
慶興丸　四月三日　南海島、海苑島行　木浦發
公州丸　三月[illegible]日　各港經由濟州島行東廻　木浦發
江原丸　三月[illegible]日　芝罘、大連、青島行　仁川發
麗水丸 晉州丸　四月二日・三月三十日　各港經由木浦行　仁川發
宗信丸　四月一日　海州他各港經由　仁川發
全州丸 南陽丸　毎日　仁川發
切符發賣所　朝鮮郵船會社京城支店　電話七〇八番